

京都市保育園保護者会連合協議会（市保連）

**新型コロナウイルスに
おける就学前の子ども
がいる世帯の生活調査
【自由記述】**

実施期間：2020年5月14日～5月24日

公表：2020年6月1日

現在の働き方について、問題と感じている点

正規職員（医療・保育・福祉関係）

- ・医療関係ではあるが、やりくりすれば休暇は取れなくはない職場。職場の理解がなく、未就学児がいても休暇が取れず、保育園に預けている状況。
- ・医療機関は通常以上の体制で動いているので休みがとりづらい
- ・休みたいが誰かに負荷がかかるので休めない。
- ・医療、福祉、保育は休みたくても休めない。社会的に必要な仕事であることはわかってはいるし役割を果たしていかなければと思うが、密接することも多く感染リスクも高い。現在、期間的に特別休暇が取得できるようになって出勤日も減っているが、その分出勤している職員もいる。子どもの休みがいつもより多い分、休みはとれているが、感染リスクが高いため行政から危険手当など出してほしいと感じている。行政は今後の方針など、現場の声や保護者の声を聞き安心、安全に生活が送れるように対策を考えてほしい。
- ・一人職種なので、ふれない仕事が多い
- ・自分が休めない分、子どもも集団生活を余儀なくされていて心配
- ・体調が多少悪くても休むことが難しい
- ・担当の利用者がいる仕事だと、コロナ関係なく仕事が絶えずやってくるため、容易に休みの希望等出すことができない。
- ・福祉で現場職なので、簡単に休むことなど出来ない。
- ・必ず必要な職種だから変わりが効かない
- ・コロナにより忙しくなり時短勤務が取れていない
- ・コロナの影響で仕事に変化があり育児等に支障がでている。福祉関係なので休む事もできず保育園に行かせている。有り難いが正直子供の事も心配
- ・夫婦ともに医療従事者。慣らし保育期間の対応を頼める近親者がおらず育児休暇を延長した。職場は感染症対応病院なので早期復帰を打診されている。
- ・業務量は増えているのに勤務時間は減っている
- ・職場に危険を感じても、行政の意向で原則仕事。勤務は減ったが在宅勤務とはいかなかった。
- ・自宅保育の協力要請が出ているので子どもを自宅で保育したいが、職場は福祉関係のため、通常業務。休むには有給を使うしかない。小さい会社のため、在宅ワークは勤務と認めてもらえないジレンマ。
- ・保育現場で働いています。協力休みは増えていますが、仕事で登園している子はいます。登園している方の中で、どこか保育園は安全と思われているような風に感じる場合があります。必要な保護者がいるので、園を開ける必要性はもちろんありますが、預ける側も、園は安全と思わず、園でも感染の可能性はゼロではない意識をもってほしいなと感じます。
- ・保育園で働いているので、毎日休むことはできない。自粛を呼びかける時期なのに、保育士の子を保育園で預かるという矛盾が生まれている
- ・職場が激務であるが、保育園に預けると感染しないか不安。
- ・夫婦ともに医療職だが親が感染した場合でも子供を預ける所がない
- ・自粛生活になり、改めて働きすぎな社会だと感じました。今回のことが、勤務時間、営業時間の短縮をすすめ、生産社会ではなく、家族との時間を大切にできる社会にするための機会になることを望みます。
- ・こどもが一緒にいると集中して働けない
- ・在宅勤務しているが、給与は実働分のみで残りは有給でまかなっている。職場も大変な状況であり理解できる為、強く要望できない。
- ・在宅勤務の為、子どもを保育園に預けられず、家庭保育をしながら仕事をしている。仕事は子どもが寝ている

間か夫が休みを取得している時しかできない。

- ・在宅勤務時は保育園に預けられず、仕事と家庭保育の両立ができない。
- ・在宅勤務ではあるが、毎日有休の時間休消化をしている。
- ・残業代が出ない
- ・特別休暇では8割の収入になる為休めない。
- ・主人の仕事がいつなくなるかわからない中、有給を使い勤務日数を減らしているが仕事の日には子供を保育園に通わせる為感染のリスクがある。金銭面は安心して休暇をとりたかった
- ・仕事と育児のバランス
- ・現在産休中であるが、現場の職員の実態を聞いていると保育を守っている職員の不安が増している。なんらかの形でケアをできるようにしてほしい。また、リスクがある中で保育しているのは医療、介護、保育共に同じだと思う。保育にも手当をつけてほしい。
- ・週末がメインの勤務の為、祖父母の協力が不可避。
- ・医療現場で働いているため特になし
- ・子供だけで家にいることが多い

非正規職員（医療・保育・福祉関係）

- ・相手が高齢者なので、利用者の健康管理や衛生管理を第一に考えることが多い。ちょっと自分が疲れてしんどくても我慢してしまうことがある。
- ・保育職場に勤めているが、子どもが減らず休暇が取りづらい。我が子の家庭保育協力の為休暇を申し出たら休む事は可能であるが、給料の補償が無く休んだ日は無給となり大きく収入減となる。給料の補償が無い為、小さい子がいる職員も休む選択をせず、子どもをいつも通り保育園に預けながら出勤している状況。全国的な自粛ムードの中、職場は社会とはかけ離れた通常の様子であり、少し違和感がある。職員が安心して休暇を取れ、我が子が集団に通う事も控えられたらと思うが、なかなか難しい状況。
- ・休みたい時でも業務の兼ね合いで休めない
- ・休みのお願いを申し出にくい、取りにくい
- ・子どもがいるから休んでと言われても、休んだ分の補償はないことが困る。パートなので強く言えない。
- ・非正規の為、手当などが不十分。
- ・予定外の無収入
- ・金銭的に苦しい。子どもの感染時の対応が困難とかんじている。こどもの宿題や課題、体力面や精神面でのフォロー、全てが親にかかっている、正直働くところまで行き着かない。
- ・非正規職員の休暇に対する保証がなかった
- ・現段階で、休業中の手当の保証がされていない
- ・顧客情報を扱う業務ゆえ、リモートワークができない点。通勤時間が長く公共交通機関を使用しなければならない点。
- ・テレワークは不可能
- ・休園の基準が一律でない
- ・幼稚園の預かり保育などが十分実施されず、保育園への転園も考えた。幼稚園も両親就労の世帯がいることを考慮した対応をとってもらえるように、市側も配慮して欲しいです。"
- ・こどもは休校、登園自粛なのに親は働かざるを得ないという状況。父親は知らん顔で普段通りに勤務しているのに母親だけが有給休暇などで、仕事と子育てをやりくりしている現状。
- ・感染するリスクが高い
- ・今年度4月から働き方改革で非正規雇用の働き方を見直すと会社から説明がありました。有休が増えるなどの

一部見直しがありました。賃金見直しなども無く、多くは改善されておられません。私の会社では、非正規社員は育休が取れない、ボーナスや退職金が無い、半年の有期雇用契約のみ、フルタイム勤務の契約は無し、1時間や半休からとれる有休制度が無いなど、正規雇用と比較すると労働契約内容は不利なものがまだ多くあるのが現状です。

・自分が出勤することで子どもたちも登校、登園するので子どもたちを自粛させてあげられないことが問題と感
じる

正規職員（医療・保育・福祉関係以外）

・保育所からの要請で、親が在宅の場合は我が子を家庭保育している。私は京都市立小学校で教員として勤務しているが、在宅勤務を教員間で順番でとることとなっている。しかし、在宅勤務である以上、勤務時間内の外出ははばかれるので、子どもを公園等へ連れていくことも周囲の目を気にしてなかなかできない。ましてや、家庭内で二人の子どもを見ながら仕事することなんて、不可能に近い。たまたま昼寝のタイミングが合えばわずかな時間なら捻出することはできるが。京都市立学校の教員は、市内の小学校に通う小学生児童が家庭内にいる場合は特休をとり、子育て・保育のために休みをとることができる。にも関わらず、未就学児のそれは認められていない。小学生はさることながら、未就学児ほど子どもだけで過ごすことは大変に難しい。組合から教育委員会にこの矛盾を働きかけてもらっているが、状況は改善されていないのが現状である。黙っていれば明らかにはなりません、在宅勤務で仕事が進まないことに、精神衛生的に辛いものがあります。

・今回、在宅勤務の場合は子どもを預けることが不可という通知がありましたが、三歳以下の子どもを家でみながらの在宅勤務は無理です。ほぼ仕事ができません。会社では勤務時間外の仕事は禁止されていますが、子どもが起きる前の早朝になんとかこなしている状況です。違反ですが仕方ありません。会社と行政の認識のギャップが大きいです。

・子どもの預け先はあるものの、学童などは密を避けることは不可能なので、預けることに不安がありますが、働いていると預けるしかない。もう少し時短の勤務ができたり、在宅勤務の日が増えたら有難い。

・責任ある立場なので出社は簡単に在宅勤務に移行できない。

・ほとんどの場合、在宅で十分にこなせる仕事内容ですが、ITリテラシーが極端に低い社員が多い会社なのでそれができず、通常勤務をせざるを得ない。

・リモートワークができない。

・テレワークが出来ない職種なので思うようにできない

・テレワークで全て仕事が回る職種ではないので、出勤日は残業になり仕事量は増えている。またテレワークは子どもも一緒に家にいるので仕事の効率は悪く質も落ちているように思う。

・個人情報扱うため在宅での勤務がなかなか難しい

・学校と異なり保育園は開いているので、登園自粛するには有給休暇を消化しての対応になること。保育園は開いているので、預けて仕事に行かざるを得ない。(学校は特別休暇制度があります。)

・子どもを家でみたいが、休みが取れないのでみれない。

・小人数の職場のため、正社員であるが、休暇や今回のような事態の際の仕事の融通がきかない

・自分が望むほどの融通は効いていない(周囲の人の協力が不可欠)

・在宅勤務2日、出勤1日のペースで仕事をしているが、そもそも在宅勤務でできることは限られているため、結局出勤時に数日分の溜まった仕事をこなさないといけなくなり、帰宅が遅くなる。

・残業が日常的に起こってしまい、延長保育などで、子どものみならず、保育園にも負担をかけているように思われる。

・時短勤務をさせてほしいが、子供がいる家庭だけ特別扱いするのは、難しい。

・出勤日と在宅勤務日が職場都合で頻繁に変わる

- ・出勤日を減らすことで会社の人事評価は下がるため、将来的な減収に繋がるので休みを申請し難い。
- ・連携していた仕事が個人持ちになった。仕事の融通は効くが、量が増えた。
- ・フルタイムのため、子供という時間が少ない
- ・訪問系のサービスで、常に公共交通機関を使っています。感染のリスクがあるのにも関わらず、お給料は変わらない、寧ろ、少し忙しくなりました。
- ・（業務の内容上）在宅でこなせない業務については、在宅勤務指定日であっても任意で（自己責任で）出勤しなければならないため、移動等での感染リスクを避けられず、何のために在宅勤務や登園自粛をしているのか分からない。また、毎日の予定が立たず、子どもの保育園や小学校（特例預かり）、学童の利用の予定も直前まで決められない。
- ・大阪など京都府外からの出勤者が近くにいる
- ・感染するリスクと労働時間の長さ
- ・未就学児をみながら在宅勤務を行なっていることについて、職場で理解が無いと感じる。在宅勤務をこなしながら食事をさせたり、午睡をさせたり、おやつを食べさせたりするのは不可能。在宅でも「仕事をしている」ことが前提なので、電話等がかかってくる、すぐに連絡を返さないといけないこともあり、子どもを連れて散歩や公園等に行くことも出来ない。
- ・在宅勤務であれば、保育園に預けず家で保育するというのは無理があります。今は緊急事態なので在宅勤務の際は家で見ていますが、今後も長引くとすると、仕事が捗らず困ります。
- ・在宅勤務により出勤回数は減っているが、通勤中や職場内での感染リスクを不安に思っている
- ・在宅勤務の形態は、事業者によって様々な取り扱いとなっている。例えば、遠隔 PC ソフトを導入して会社の PC を自宅から操作できるようにすることで、通常勤務時と同様の働きを在宅勤務時においても求められるケースや、通常業務がコロナ影響で低減しているために、メール等の確認等、在宅で可能な一部の業務のみを執り行うなど。私は在宅勤務時は前者の取り扱いだが、保育園より、行政より在宅勤務の者は基本自宅で子供をみるように（保育園の利用を自粛するように）案内され、非常に困っている。保育園での感染拡大予防に最大限協力したいと思っているが、家庭の事情は様々であり、行政からの案内が一律的な取り扱いでないことを強調いただきたい。そうでなければ、保育園へ協力しないのかというように見られると非常に辛いものがある。
- ・子どもがいる中で日中に家で働くことがかなり難しく、深夜に仕事をせざるを得ない。睡眠時間が削られ精神的肉体的な余裕がない。このような状況では免疫が落ちてしまいコロナウイルスに感染してもおかしくない。京都市から強い自粛要請が出されたが、京都市の対策や仕事の遅さには非常に不満がある。
- ・子どもを家庭で見ながらの在宅勤務は難しい。教員をしているが、オンライン授業時は子どもをかまえず、授業動画の作成などは、子どもの就寝後になり、深夜に仕事をすることもある。
- ・特別休暇で休んでいるのに、仕事や課題を出されて、家で働かなければならない。子供を見ながらの仕事は到底無理で、寝かしつけた後の夜中や早朝にしなければならず寝不足。日中の育児は半目でギリギリの状態です。
- ・在宅勤務が認められている場合子供を預けられず、日中は子供の世話をしたあと、深夜から明け方まで仕事をしている。体力の限界。
- ・保育と在宅勤務の両立は不可能。睡眠時間を削って働いている
- ・昼間は子どもの世話をしており主に深夜に働いている。
- ・仕方ないかもしれないが、日中も連絡が沢山入ってきて、会社とやりとりしなければならず、子供たちに今は仕事だからと我慢させたり、抑えたりする場面が出てきている。特別休暇中は、休暇として仕事を課さないで欲しい。
- ・0歳児が家にいると仕事は無理。
- ・在宅勤務は何もできない。

- ・在宅勤務をしながらの保育ができるという考えをもつ行政へ不満を感じます。
- ・子どもがいると在宅ワークができない
- ・子供の面倒をみながら在宅勤務することは著しく能率が下がること
- ・子供をみながら行う在宅の困難さ
- ・集中時間が確保できていない
- ・テレワークで子供がいると半分くらいしかできない。
- ・家の中で、子供の世話と仕事の両立が難しい。一方に向き合うと一方が疎かになり、ジレンマを抱える。
- ・家庭で子育てと同時に仕事は正直難しい
- ・在宅だと、遊んでもらえると思っている子供に窮屈な想いをさせている
- ・在宅で子供がいると業務効率が著しく低下する
- ・在宅をしていると仕事とプライベートの切り替えが難しい
- ・在宅勤務と家庭保育の両立
- ・在宅勤務になったので登園を自粛しているが、子どもが小さく、家で仕事ができる環境ではない。
- ・在宅勤務は子供を自宅で保育するとされているが、あくまでも『勤務』であり、『休暇』ではない。
- ・自宅で保育と勤務の両方をするのは、子供が小さいこともあり不可能で、育児にも仕事にもストレスがでる。
- ・子どもが保育園に行けていないので、在宅の勤務もほとんど思うようにならない
- ・子どもを見ながらやっていることを想定されていない。その辛さが可視化されにくくなっている。
- ・子供がいる中での仕事時間の確保が大変
- ・子供が家にいて在宅仕事が進まない。
- ・子供を自宅でみながらの在宅勤務は厳しい
- ・自宅保育に協力しているため、自宅勤務とはいえ業務時間が確保できていない。
- ・母への負担が多い。男は仕事。女は家事育児がしんどい。
- ・休暇中なので仕事は問題ないが、上の子供の保育園の登園自粛で下の子の育児に支障が出ている。私自身のストレスも多い。
- ・夫が残業が多く休めないで、家事育児の負担がすべて私にくる。いわゆるワンオペ。精神的肉体的に限界がいつきてもおかしくない状態で毎日をすごしている。
- ・下記の世帯収入ですが、選択肢にはありませんが今後減る予定です。
- ・大学で理系教員をしているが、研究室の学生が通学不可となったので研究の進捗が遅くなった
- ・五月より産休！それまでは職免で休みました！ありがたかったです
- ・4月に復帰予定でしたが6月復帰に延長になりました。会社はきちんと対応してくれますが市からの連絡で変更があると手続きが二重三重になります。
- ・5月の市からの通達は遅すぎて、育児休業を再延長できなかった
- ・育休を延長していただいだけ、有り難いが復帰の目処が立たず、不便
- ・育児休業から復帰できていないので収入が2/3ほどになっている。保育園に預けられないが保育料がかかっている。

非正規職員（医療・保育・福祉関係以外）

- ・今回のコロナの雇用調整助成金は会社が申請する必要がある、9年も勤めていても会社が申請しないとえば私のように平均10万給与があったパートがいきなり0になる。公平な対策とは思えない。
- ・有給制度がないので休むと収入が減る
- ・職場に子どもを連れて出勤する日もあり、仕事が思うようにすすまない。仕事にならない時間も増えて、時給なのでその分は自ら休憩扱いにしているため給料が少なくなる。

・子供が喘息もちなので保育園に行けず、咳が出るため働けていない日があります。今までもギリギリだったので、正直厳しいです。

・デスクワークが主なので在宅勤務するように言われますが(職場からも園からも)3歳男児が家にはパソコンに向かうのは15分が限界。結局業務時間が減り収入がほとんど無くなりました。他の方にシワ寄せがいつているのに雇用調整助成金など申請してほしいとはとても言えません。

・子供を保育しながら仕事を行うのが難しく(集中できない)、早朝や深夜に仕事せざるを得ないこと。

・家に子供がいると仕事にならず、睡眠時間を削って深夜早朝にも仕事を行なっている

・自営業なので子どもを在宅でみるのが可能ですが、子どもの面倒を見ながら今まで通りの仕事はこなせていない。旦那の負担が増えている。

・育児をしながら仕事をするのは無理だと思う。

・子どもを見ながらテレワークは不可

・コロナの影響で派遣先が見つからない

・障害児がいると働く事がそもそも厳しいのに、緊急事態はさらに負荷がかかっている。

・仕事の受注が減っているため、パートの自分は休まされている。この先会社が続けていけるのか、パートの自分は辞めさせられるのか不安がある。

・どうしてもシフトなかなか柔軟に対応してもらえない。1ヶ月先が、どうなのかわからないのに。

・電車通勤の正社員が在宅勤務になりました。自転車通勤で派遣社員の私は毎日出社していて、過ごしてもやっとなります。

・必ず出勤しなければならない日があるので、保育園に子供を預けられない場合には、子供の預け先に困る。

・保育園登園自粛により子供を見てくれる人がいないので主人が休みの日に出勤している。そのため家族そろっての休みが取れない。

・勤務日数が大幅に減ったので、主人が在宅勤務をしている為保育園に預ける事が出来ない今も、出勤日だけは主人に子供を預けて出勤出来ているが、万が一、出勤日がこれ以上増えた場合、これ以上在宅勤務中の主人に子供を預けることは出来ないため不安に思っている。

・主人がリモートしているが、私は休業中のため、子供の面倒を含め家事全般が全て自分になり逆に大変さを感じている。

・十分な換気ができない。狭い部屋での密あり。

自営業・フリーランス・会社経営

・夫婦共働きで1歳と3歳を保育園に預けている。妻はフリーで在宅で仕事をしているが、今回のことで二人の子を見ながら家で仕事をしなくてはならなくなった。自分も仕事の合間に一緒に子育てをしているが、二人の子を見ながらの仕事は全くできない。夜も夜泣きがひどいので寝かしつけた後の仕事もできない。これを園に伝えても、家で仕事をしている人は見れない、の一点張り。妻は体を壊してしまうかもしれない。どうすればいいのか。

・「在宅勤務の場合は自宅保育を」の要請どおりにすると「自宅保育をすると在宅勤務はできない」状況になる。親に苛立ちが募り、子に対して大きな声を出す、きつい言い方をすることがある。感染拡大の重要性は認識しつつも仕事場が自宅かどうかで保育の受け入れについて区切りを設けることに疑問がある。

・子の相手をしながらの在宅勤務で仕事が進まず収入に影響するため焦燥感に駆られている

・在宅ワークなので、子供達を家で見ながら仕事をしているが、日中はほとんど仕事に集中することができない。

・在宅ワークは仕事として見られていない感がある。なぜなら今回のコロナの件では、通勤が必要な方は今まで通り保育園を利用できたが、在宅ワーカーは保育園通園自粛を要求された。在宅ワークは何時でもできると思われているのが悔しい。先方との都合で時間が限られている場合も多い。なにより基本的に、子どもの世話をしな

がら仕事をする事は不可能。そのことが理解されていないと思う。在宅か通勤かで対応を変えるのは問題だと思う。

- ・在宅勤務の場合は保育園を休んでるので、日中は子どもに付きっきりで夜寝静まってからしか仕事できない。
- ・子どもがいたら仕事ができないため、睡眠時間を削って仕事をしている。
- ・自粛要請に伴い保育園を休園させているが、在宅ワークはほぼ仕事にならない。
- ・夫婦二人共作業ベースの仕事なので、リモートで働こうと思えばある程度働くこともでき、子供が起きる前、寝てから仕事しろと言われればできなくもないという状況ではあります。ただ、これも限度があり、「エッセンシャルワーク」の位置づけに葛藤を感じています。小学校は無条件に休校になっていて、在宅でフルタイムで働いている親御さんもいらっしゃるのだし、やってやれなくもないといえなければいけませんが、ものすごく能率は悪いし、やりたいことの80%はあきらめている現状です。かといって、親だけリモートワークしたとすると一体何になるのだろう、一人一人が今まで通りの働き方をあきらめなければいけないのでは、と今後の子供の通園をどうするか悩んでいます。
- ・京都市の方針で、勤務先へ通勤する親のみが保育所等に預けられるルールになったので、自営など在宅勤務者は対象外となった。平日子どもの面倒をみるようになると、仕事は殆ど出来ない状態になる。
- ・仕事の時間を確保するのが大変
- ・こどもから話しかけられるたびに仕事が中断する。
- ・保育所の登園自粛要請があるので、仕事をしながら子供を見る事が困難
- ・リモートワークで大学の講義を行なっているため、病児などの対応ができないこと。
- ・保育園に預けられなくなりましたが、近所に住む義母が終日子供の世話をしてくれています。義母には時間を割いてもらい申し訳なく思っています。
- ・減少した仕事を取り返す動きをしたいがままならない。
- ・舞台関係の仕事であったので仕事ができなくなってしまったこと
- ・土日仕事している者(夫婦)からすると、平日の休みの時に子供達が居ると、その時にしないと行けない事などが出来ない。
- ・休みがない
- ・収入減

その他

- ・お金が取り敢えず稼ぎたい。
- ・子供を預けられないので働けない
- ・働けない

未就学児のいる世帯への経済的支援や保育料等の取り扱いについて

ひとり親世帯

- ・私は母子家庭です。京都市はひとり親に対しての支援や給付金が全くなくて、他の自治体では日々ひとり親に対する給付金や支援が増えていってる中、京都市はまったく無く、私は仕事も完全に休業となり、私達家族は本当に食べるのも大変になっています。小さい子供をもつひとり親に対して一刻も早く対策をとってほしいです。
- ・店の子達と話していると1人親世帯の子たちの不安を良く聞きます。毎月の給料から支払いをしているので、保育料を先延ばして、来年月賦で支払いが出来る様にして欲しい。
- ・母子家庭世帯への救済措置を強化してほしい。
- ・ひとり親だが、児童手当の上乗せなどはないのか！他の地域はしているのに対応が遅すぎる

保育料返還

・自粛出来る日は自粛しているが、京都市の保育料返金の対象は決まった日数以上続けて休んだ人となっており、我が家は対象から外れます。両親とも仕事の関係で続けて休ませる事は出来ず、とてもモヤモヤした思いでいます。

・精一杯の範囲で自宅保育をしても、実費分の減額対象ラインに少し届かないと、結局、持ち出し分だけが増えてしまう。小さな努力は努力と認められないということか、と虚しくなる。

・2ヶ月分も先に全額納める京都市の方法に納得がいかない。返還はいつごろ？それも合わせて連絡するべきでは？なのに月額の利用料の連絡は早い。ビックリする。コロナ禍の今そこじゃない！何に対しても市民への連絡が遅すぎる！！

・保育料の返還手続きについて役所に尋ねたが、全く決まっていないと言われた。無理矢理登園自粛というのなら、返還の手続きをもっと早くするべき。

・自粛した分の保育料は返還されるべきでは。それで保育士さんのお給料が減ることはあってはならないと思いますが。

・登園自粛していた期間の保育料は返還してほしい

・保育料などの協力休園分の日割り計算とはどのようにするのか明確に出してほしい。ただでさえ、不透明な部分がある。

・自粛した期間中の保育料は何も払いたくない

・自粛分は返金

・保育無償化になっていない年齢なので保育料の負担が大きい。自粛で登園していない分は早めに返還してほしい。

・今年上の子どもが卒園し、下の子ども（3歳未満）になりました。これまで無償化のおかげもあって2人で3万円強だった保育料が一人になると9万円弱となりました。現在、夫は仕事を自粛中で、今月の給料が入るのかも分かりません。9万円の保育料を支払えるのか…本当に不安です。また払うことにも納得ができません！！今月は一日も登園していないので、保育料を後払い制にして、引き落としをやめてほしいです！！

保育料無償化・減額

・保育園無償化は全世帯を対象にすべきだと思う。未就学児のいる世帯への児童手当等も手厚くしてほしい。誰もが安心して子育てをできるには、環境だけでなく経済的支援も不可欠だと思う。乳幼児期の親子の関わりの時間をもっと多くするには、ライフワークバランスを考える必要があり、すると今までよりも仕事を減らざるを得ず、収入も減る。父親でも母親でもどちらも子育てに関わることができて「子育てか仕事か」という選択を迫られない社会になってほしい。今回のコロナの件で、在宅ワーカーは自宅保育を余儀なくされ、両立するためには「子育てか仕事か」を強く迫られたと思う。

・保育料の減額、援助金は頂けると本当に助かります。

保育料

・もともと保育料が高い。第2子が卒園し、第3子だけになったが、ふたりを預けていた時の方が安いのはおかしい。

・世帯の税金に応じて保育料が変わるのが納得できない。多く税金を納めて、保育料も高くなるのはなぜか。通っている子供たちの保育の内容は同じなのに。

・登園自粛期間が終わっても医療従事者である私たち夫婦は感染のリスクは変わらない。例えば私か主人のどちらかが職場である病院から濃厚接触者として自宅待機を告げられた場合、倫理的には子供たちも同じく自宅待機

をさせる必要がある。そういった場合も保育料に関して免除や返還をしてほしい。これは感染拡大予防に必要な措置だと思う。月7万弱の保育料は高すぎるのでそういった場合に休ませる時は手取り給与も減らし減免してもらいたい。

- ・土曜保育を休み協力しているのに保育料がかかるのはおかしいと思う

- ・入園式しか行っていないのに、保育料、給食費、設備費などを払わないといけないことが辛すぎます！あとから無償化で一部は返金されるとはいえ、いつのことかさっぱりわかりませんし、私立幼稚園では足が出ます。収入が厳しい世帯には支援がほしいです。

- ・保育園が閉園されていないので、それに関しては親の良心の問題というか、どうしてもダメなときにあずける先があるというのは大変心強いと思います。保育料も無償化になって特に問題ないです。今回のことで生活や仕事に関して、個人的な葛藤はありますが、与えられている環境に関しては感謝してもしきれないほど恵まれていると思います。

- ・保育料が高過ぎる。働いた分だけ損してる。同時在園でなくても、安くして欲しい

保・育料の無償化は個人的には嬉しいですが、預かってもらうためにかかる経費なので、収入に応じて保護者負担でいいと思います。

- ・保育料は一定ではなく利用した日数分にしてほしい

- ・0～2歳児の保育料がもう少し減額されると助かるが、保育関係の方々の収入のことも考えると、なんとも言えない

- ・2人目以降の保育料減免について、同時期に保育所に通う場合という要件を外して公平にした方がよいと思います。

- ・8月までは育休復帰後の保育料のため保育料が低く、支払いも問題ないが、9月からの上がった保育料で今回のような状況になると支払いが厳しくなるのが想像できる。

無料後、通った分を引き落としの方が助かる。"

- ・こどもの人数が多いほどお金がかかるのは当たり前。多子世帯に年収制限なく公的な子育て支援を平等にしてほしい。

- ・もともと保育料が保育時間で決められていて、保育日数で差がないことが問題だと思う。預ける日数が少なければその分保育料も減らしてほしい。

- ・育休を延長しているが、半年を超えるので50%に減額になる。減額が困るので早めの復職を予定していたのに困っている。一旦払わなければならない保育料に納得がいかない。

- ・育休取得や仕事先が休みになったりしている中で保育料を支払い続けるのが困難。

でも保育園に預けるのは大きなリスクがあり怖い。"

- ・産休前はフルタイム勤務だが、育休後は時短勤務となる人が多く、フルタイム勤務時よりも減給となるため、その点も含めて考慮してほしい。

経済支援

- ・食費がなく、保育園にも行かせられず、餓死させてしまうかもしれません。

- ・コロナの影響で夫の収入が減りつつある今、今後の生活費やローン、保育料など払えるのか心配。持続的な経済的支援をしてほしい。

- ・勤め先が倒産し、区役所に何か支援がないか問い合わせたが生活保護か、融資しかないと言われました。他に支援がほしいです。

- ・経済的支援があればありがたい。

- ・登園自粛に伴う勤務時間の削減により世帯収入が減っています。助けていただけると嬉しいです。

- ・この状況下で収入減となった方や失業された方も多いと思います。保育料納付の延期を認めるなど市の柔軟な

対応が求められると思います。

- ・お給料はかわらないが、必需品のマスクを買うために、高騰しているものを買うしかありません。子供の感染予防にもお金が必要です。お給料が変わらなくても、お金は出ていく一方です。
- ・昨年度の収入基準で保育料が計算されているが、今、これからは状況が変わるので再考(減額もしくは補助)が出るとうれしい。
- ・支援や補助が決まっても、提出する書類が来ない。支払いも混雑しているようでなかなか安心して生活が出来ない。
- ・支援金が確実に受け取れるよう、アナウンスを必ず受け取れるよう、わかりやすくしてほしい
- ・不正をなくして正確に処理をするためなのだと思うけれど、手続きが複雑で手間がかかり過ぎるのは、受給者、職員両方への影響を考えてしまう。
- ・3歳以下の保育料も免除してほしい
- ・現金給付より保育料の支払い免除をして欲しい。
- ・休園は未知のウィルス相手では致し方ないことかと思うが、休園分の保育料は返還していただきたい。
- ・3歳以上の医療費の免除。中学生まで月額 200 円にしてほしい。保育料に関しては無料化になって本当に助かります
- ・お昼のご飯代が大変です
- ・昨年から無償化になったので、保育料そのものの負担がないが、登園自粛で食費などの負担が大きくなっている。
- ・コロナが終息した時に今までできなかった業務をしていく必要があり、残業が増える可能性がある。延長保育や土曜保育、ファミリーサポートを利用しやすい環境にしてほしい。割引や申請をしやすくし、保育士の体制強化をしてほしい。
- ・育児手当の増額はいつ入るのか。京都市独自でもご飯代や図書カードなど、毎日のステイホームに役立つお金を与えて欲しい
- ・在宅勤務がままならないのでシッター代金を助成してもらえればありがたいです
- ・手洗いやシャワー、三食の自炊で水道代金がすごくかかる。割引か無料にしてほしい。
- ・多胎児への補助は欲しいです。
- ・登園自粛となっているため祖父母にお願いしている。経済的な負担をかけてしまっているのでは、何らかの支援がほしい。
- ・公立保育所で良かった。障害児の親は働く事が難しく、育休中に退職せざるを得ない人が多い。民間保育所では働いていないからと、登園自粛を求められる。負担は深刻。
- ・家庭保育がしんどい家庭(休めるけど精神的に、肉体的にしんどい)が心配。企業への経済支援や子持ち家庭を休ませる要請が十分ではないためか、なかなか休めない方もいるようで、休みたい、不安とおっしゃっている方もいた。
- ・普段は保育園で済ませられる昼食、おやつを家庭で用意するのが大変です。コストよりは手間が…(新生児をかかえて買い物に行くのも一苦労なので) 栄養面も心配。
- ・上に書いてしまいましたが、いろんな物資も含めて行政からきちんとお金が出ているか、心配です。
- ・医療、福祉、保育士の方に金銭的に支援してほしい
- ・休校、療育時間の短縮で自宅で過ごす時間が増えて家計も厳しくなった。経済的な支援が欲しい。
- ・経済的支援は平等に、所得制限をなくして欲しい。休業した人だけでなく働いている人にこそ経済的支援をすべきです。支出増になっているのは働いている人です。
- ・子どもを保育園や学校に預けず家でみてるので、その分の支援金は必要
- ・収入が減った場合に柔軟な対処があれば良い

・保育園自粛中、生活費、食費、光熱費など目に見えないお金が色々かかってすごく大変です。自粛した分当てほしい。生活が苦しい。

・医療費を安くして欲しい。児童手当の金額を、小学校に上がる迄減額しないで欲しい。

給食費

・3月から可能な限り家庭保育をするように園から言われ、実際仕事も休みなので登園していない。あきらかに給食は食べていないので給食費は返金して欲しい。それ以上家計の負担になっている。

・給食費は、日割で減免ではなく、登園日数が10日未満半額、0日は0円という大まかな減免が少し納得できない。4月の緊急事態宣言前5日ほど登園したので。

・自粛要請を最初からしているのだから、給食費は全額かえしてほしい。

・保育園の方から「利用を控えるように」と要請しているのだから、利用を自粛した分の給食費などを返金するのは当然ではないかと考えます。ただ、そのために園側の事務量が増加することも心苦しい。そもそも給食費も無償化に含んでおけばこんなことにならなかったのにとおもいます。

・保育園独自で登園自粛分の給食費を日割りで削減してくれる処置があるが、1ヶ月全て通わなくても半分以上給食費を支払わないといけないうのは理解ができない。そもそも1食分で計算されている食事代が計算に合わない

・保育料は、無料化のおかげで費用負担はないが、給食費など登園自粛した分の費用を軽減して欲しい。(小学校の給食費も3~5月分はどうなっているのか?)

・保育料はかからないが、給食費に関しては通っていない日数分を免除してほしい。そもそも、給食費も無料にするべきだと思っている。もちろん経済的な支援も希望する。

・給食費が日割りされるのか知りたい

・給食費が無料になれば助かる

・給食費の減免。

・給食費が先払いで7月8月に返金となるが、困窮している世帯には優しくないと思う。子供が元気なのでたまには預かって欲しいと思っているが、なかなか言えずにいる。

・給食費の請求だが、1日預けるだけで半額請求は大きすぎる。上記の理由で、1日だけでも園に預けて仕事をしたいが給食費半額2人分となると大きくなり躊躇ってしまう。食材発注の関係で仕方ないのかもしれないが、2週間連続で休まないで全額請求というやり方も辛いものがある。理想は、週1回預けて仕事に専念したいが、それでは全額支給でかなり勿体ない。日割り請求にしてほしい。

・給食費の返還希望。

・6月末までの自粛中の保育料給食費の返還希望。

・給食費は登園した分だけ負担する形にして欲しい

・給食費や保育料など、自粛分は返金すべき。(通っている園は給食費は返還あり)

・給食費返還希望

・自粛した分の給食費なども日割りで減らして欲しい。

・子を通わせている保育園(中京区)はもともと食育に非常に力を入れている所で、家では食事をあまり食べない子も保育園でなら喜んで食べるという状態が続いていました。(配偶者が在宅勤務になった為通わせることができず、食育に関して正直本人・親とも疲弊しています)下に合わせないといけない(言い方は悪いですが)のも承知の上で申し上げます。食事費用の月額徴収上限のせいで、良好かつ貴重な食育環境が失われつつあるように見受けまますので、柔軟な運用の余地をもっと広くしていただきたい...と思っています。

・月額数千円程度、可能な範囲でなら費用負担増も厭わないのでどうかこども達のためにより食育環境を維持させて欲しいです!

保育士待遇

- ・騒動後、また質の良い保育が再開できるように、保育士さんや設備への経費や投資は惜しまないでほしい。
- ・個人的には、3歳以上保育料無料は必要ありません。むしろお金は支払うので、その分子育て福祉環境の充実を望みます。
- ・保育園のスタッフの給料を減らしたりするのはやめてほしいです。
- ・保育現場を見ていて、保育士の待遇改善、保育にかける予算をもっと手厚くし、安全安心な保育を追求してほしい。
- ・保育料は上がってもいいがそれを保育士に還元してほしい

その他の支援

- ・他県では子育て世帯に1子につき図書カード5千円配布されたり、光熱費が免除になったりしている。京都市ももっと子育て世帯を支援してほしい。
- ・登園自粛要請に協力している分、給食費返金以外、の考慮があってもよいのでは。
- ・職種上、働かざるを得ない家庭へ対しても、平等な支援をしてもらいたいです。行かなくても良いなら自粛だってしたいけど、そんな事は絶対に出来ない職種の家庭は収入はあれど、負担はすごく大きいです。"
- ・検査費用を妊婦のみならず、子ども全員を対象にしてほしい。
- ・早く、学校が始まって欲しい。
- ・夫婦ともに働きながら子育てしています。子どもが熱や体調わるくて、迎えにいくのはいつも母親というイメージが濃く、共働きの世帯は夫婦ともに平等に扱われるべきと思います。父親の育児休暇をとりやすくしてほしい。
- ・保育園の預かり時間が全国比にくらべ短く十分に働けない

子どもの世話をするうえ必要だと思われる社会的支援

3歳未満の子がいる家庭

- ・自宅保育や自粛の必要性については認識しているが、段階的にでも時間制などで保育園に短時間でも預けられたり、予約制などで児童館などに行けるようにしてほしい。
- ・子どもの体を動かせる遊び場情報が欲しいです。
- ・子供を遊ばせられる場所が欲しい
- ・保育園に行けない間も、年齢の近い子ども同士で遊べる場の確保、親のストレス軽減策
- ・このような状況でも利用できる、年齢や発達に応じた遊び場を確保してほしい。
- ・自粛中でも公園を利用する事を理解してほしい
- ・遊具が使えない、公園にも人が沢山いて密になっていて行くことがこわい。体力があるから家で暴れる。公園は解放してほしい
- ・わずかな時間で公園で遊んでいると、わざわざ出てきて帰れと声をかけてくる高齢者がいます。重症化しやすいのは高齢者なので、外出予防を呼びかけた方がいいと思います。
- ・保育園からの連絡。自粛生活になってから一回だけしか保育園の状況も連絡が来てないので、外の状況がわからないから少し不安。
- ・ちょっとした育児の相談をする窓口があると助かります。
- ・ネットや電話などを活用するなどして、外部との繋がりを持つこと。子どもの様子や家庭の様子を聞いてくれる支援。保育園の先生とのリモート保育など。子ども自身もお友だちとの関わりを欲しているのが毎日伝わってくる。

- ・子育てに関する悩みや不安を相談したり、共有できる場や機会がもっと身近にあれば（なれば）いいと思う
- ・ファミリーサポート事業の充実(人材確保)
- ・ベビーシッターのような派遣型保育。掃除、洗濯、食事作り、片付けを手伝ってくれる人や、食洗器などの家事の自動化に伴う導入費用の助成。雨の日や日差しの強い日に、室内でも遊べる施設が公園ぐらいたくさん欲しい。ベビーカーや子供が騒いだりするのを嫌がらないでくれる寛容さ。道端で虐待されている子を見たときに、すぐに介入できる仕組み。
- ・在宅勤務でも仕事をさせていただける支援。シッターさんなど
- ・数日、数時間でもよいのでテレワークでも保育してほしい
- ・保育士の家庭派遣(2時間程度)
- ・こども食堂の開催を増やす
- ・家事サービス
- ・家事代行、子育て支援センターでのふれあい、保育園など社会との共同育児
- ・親が感染し、子供だけ未感染で取り残された場合の対応が不透明。対応策を明らかにしてほしい。
- ・親が感染した際の子供の保護施設。実家が遠方のため。
- ・現金支給
- ・おむつ代の助成（岡山市ではあるそうです）
- ・コロナ禍は関係ないが、月齢ごとの検診をもう少し増やしてほしい。また、オムツやミルクなどの消耗品についてもう少し援助がほしい。
- ・保育園の在宅勤務者への差別をやめてほしい。
- ・保育時間を減らしながらも平日は5～7時間預かってもらっています。

3歳以上の子がいる家庭

- ・シングルの親が体調を崩した時に、スムーズにこどもをみてもらえる場所がほしいです。
- ・ひとり親なので自分がコロナにかかったらどうすればいいのか不安
- ・子供達が思いっきり遊び、発散できるなるべく安全な場所を確保してほしいです。
- ・難しいことだが、遊び場の確保
- ・遊び場
- ・子供の生活リズムを正すサポート。栄養面のサポート。知育コンテンツのサポート。
- ・子どもがのびのびと過ごせる、安心安全な保育園の拡充。働き方の改善。女性差別撤廃。
- ・他の家庭がどうしているか。保育園からの連絡も欲しい。
- ・親が家で仕事しながら幼い子どもを見るのは子どもの発達上問題と思う。感染とのバランスを考えながら、子どもが過ごせる場所を確保してほしい
- ・コロナ禍では、家庭内での遊びの幅を広げられるような情報提供。
- ・給食の配布など食事の支援が欲しい
- ・テイクアウトで費用がかかってもいいので園のお昼ご飯を食べさせたい
- ・医療費を無料にして欲しい。コロナの影響で食費やその他も大幅に増えているので。出来たら今後も無料にしてほしい。
- ・教育費などの経済的支援
- ・保育園、幼稚園、ベビーシッターなど
- ・保育園への登園
- ・今は、各家庭で踏ん張るしかないのでは

3歳未満と3歳以上の子がいる家庭

- ・とりあえず保育士の給料をあげてほしい。子どもにかえってくるので。私は保育士ではない。
- ・保育園ありがたいです。保育士の方の処遇はもっとあげてほしいです。
- ・屋外でいいので子供が参加できるものがあるとうれしい。
- ・登園を自粛している子どもに、園庭を開放して欲しい。密にならないように人数制限をかけて時間差にして
- ・公園で遊べる環境
- ・親なり子供なりが体調が悪い場合、その他の子供のケア（通院・隔離が難しい）
- ・リフレッシュするための子預かり
- ・無料のベビーシッター
- ・在宅での育児に人手が足りないときのサポート（とくに多胎児育児やひとり親）
- ・ネットスーパーが多くの人が使うようになったからか、使えなくなった。そのために、以前はネットスーパーで買っていたものを、わざわざ小さい子を連れて買いに行かなくてはならなくなった。どうにかしてほしいです。
- ・子供の世話をしながらの在宅ワークはとても難しい。保育園への登園の自粛をお願いされているので止む無く行っているが長期間はともつらいものがある。在宅ワーク中の育児補助が欲しい。
- ・在宅は登園自粛を求められています、仕事をしながら保育を行うのは無理です。時間が全く足りません。仕事を行いながら、子どもが体を動かせる時間が欲しいです。
- ・学生や生徒ばかりでなく働く教員の、特に小さい子を抱えている教員への配慮も欲しい
- ・社会全体で子供を育てているという共通意識を、すべての世代で持って頂けることも支援の一つかと思います。
- ・男性の育児休業取得などの義務化
- ・休みの時に休ませているがお金がかかりすぎる
- ・児童手当を増額してほしい。

3歳未満と3歳以上、小学生、中学生の子がいる家庭

- ・大人一人でみなければいけない家庭には、少しの時間でも送迎や、家事など簡単に頼める制度があれば少しはゆとりがもてるのではと感じる。
- ・自営業だが全く仕事が進まず、子供の安全確保も困難なので個人的にシッターを雇いたいが使いやすく安全なサービスがない。勤務していない保育園の先生に見てもらえないかと真剣に考えましたが、現状はひたすら耐えています。
- ・子供が思いっきり安全に遊べる場がほしい
- ・安全な遊び場
- ・遊び場、ボールなどで、遊べる場所がないのももう少し増やしてほしい。
- ・コミュニティ
- ・光熱費などもおおむね35%アップした。金銭的支援
- ・病児保育の充実
- ・福祉事業への支援があるのか分からない。
- ・保育園や保健師などから安否確認のような連絡がほしい。
- ・オンライン子育て相談。
- ・学習支援をしてほしい
- ・子育て世帯に対する近隣の理解
- ・子供の年代に応じて、物資の支援があれば良いと思う。
- ・思い浮かばない。
- ・資金援助

- ・保育園、ベビーシッター

3歳以上と小学生、中学生の子がいる家庭

- ・公園は自粛要請にしないでほしい。また自宅前で遊んでいても、高齢の近所の人を怒らないうでほしい（大人は自由に動いて、子どもは自粛はおかしい。育ちに影響がありそう）
- ・公園など、遊ぶ場所の確保を大人が早急にしてあげないといけない。こどもの権利が侵害されている
- ・子どもたちが外で安心して遊べるよう、パトロールや見守りの大人が巡回してほしい。行き場のない中高生が公園でバレーをしたりして子どもに当たりそうになるので、中高生が運動できる場所、学校のグラウンドなどの施設を使えるようにしてほしい。
- ・子どもの運動量が少なくなっているのが不安。公園にも行きにくい。運動量が減って普段している昼寝が寝にくい。
- ・学校のグラウンド等の開放などによる遊び場所の確保
- ・子どもの遊び場を増やしてほしい。
- ・学校を再開してほしい。
- ・間引きして通園する日を設けていただけたらありがたい。一律休みのお願いだけではなく、家庭でいるだけのストレスも、親も子もあるので。
- ・保育園への登園可能日の設定（少人数輪番制など）、あるいは子の日中臨時預かりサービス
- ・保育園への通園
- ・保育所での受け入れ
- ・保護者会で保護者アンケートをとったが、「感染が不安」と「保育を再開してほしい」という声が多くなってきている。一番共通しているのは、遊ぶ場所もなく、でかけることもできず、友人ともまともに会えないので、親子ともに過大なストレスがある。親のメンタル面でのサポートや相談などができる仕組みが必要ではないのか。保護者同士で会って話せないのはかなりストレスだと思う。
- ・保育園や学校の9月開始を実現する為にもっと声を上げてほしい。今年に卒業を迎える年齢の子供達は行事や楽しみが全て無くなりコロナしか思い出が無いのはかわいそうです。
- ・食事などのアイデア提供やデリバリーサービスチケット、親が空いた時間に利用できる通販のチケット等で息抜きができれば。あと、外で遊べる場所がほしい
- ・希望者への食材の無料配送。塗り絵や折り紙など遊び教材の提供。
- ・しっかりと切り替えてこの状況に挑むための大人への補償をしてください。そうすれば生活と心の安定が取れて、切り替えができ、子供たちと過ごすことができます。
- ・リモートワークで負担が増えたが、**physical distance** を求められている今、保育サービスを利用しにくい。業務負担の軽減がほしい。
- ・在宅勤務でも子どもは預かってほしいです。こどもを見ながら、仕事は出来ないで、逆に職場に行かざるを得ない状況になっているような気がします
- ・コロナや疫病時、特定の職業しか保育園に預けられない特別保育の実施。保育園が休みなら、会社を休めるので。
- ・登園自粛に伴う特別休暇の創設。登園自粛の子どもがいる家庭の在宅勤務の免除。
- ・休みにくい職場を休める国からの強制的措置
- ・労働者の勤務時間、営業時間の短縮
- ・保育園からの積極的な声かけ、子ども手当のさらなる増額
- ・自粛を促すのであれば、各家庭に市や通っている園などからの細やかな連絡などを要望。会えなくても電話や手紙など、方法はあると思われる

- ・家事を主にする保護者の1人になる時間。それも外出自粛期間には難しく感じる。
- ・現状調査、子育てコンテンツの発信
- ・個人的には保育園と学童が今まで通り利用できれば十分だと感じています。保育園・学童の利用と感染症対策が何らかの形で両立出来ないと（または折り合いがつけられないと）、共働き世帯の負担が過重になってしまいます。
- ・子どもに対する寛容さ
- ・父親が育児に参加できる職場、社会作り。
- ・世話も勿論ですが、先程も述べたように世話以前に食べさすこともできない状態になりつつあります。
- ・給付金を早急に出して欲しい。
- ・経済的支援
- ・収入激減の対応として給付金を増額
- ・小学校が休みのため食費がかかる。児童手当を上乗せしてほしい。
- ・小学校の給食費無料支援がほしい。
- ・医療費無償化

自粛生活中に保育施設や身近な社会資源で提供してほしいと思う支援

公立保育所

*情報発信・連絡

- ・登園を自粛すれば保育士さんからは「ご協力ありがとうございます」と感謝はされるけど、それだけで終わっており、子どもが家庭でのみ過ごすこと、保育園に行かないことに対して今のところフォローやサポートが全く（まとまった説明はもちろん、ちょっとした声掛けのようなもの）ありません。上の選択肢にあるように、電話で様子を聞く、配布物を届けるといったフォローぐらいはあっても良いのにはと思います。今まで、保育園は家庭の代理ではなく保育園で成長することに意味があると感じていたので、登園を自粛することで子どもの成長に何らかの影響があると思います。園や保育士さんから自粛生活が続くことへのフォローやサポートが少しも無いと、不安や不信を感じてしまいます。登園自粛を要請されているのに、やむを得ず預けなくてはならない時など、どんな風に思われているのだろうか、とか。
- ・仕事上、保育園をあまり休めていないので、もし、休んでいた場合であれば、子どもをよく知っている保育園の先生から電話などで子どもの様子などを確認してもらえると子どもも親も少し安心できるのかなと思います。
- ・毎日毎週の健康相談
- ・公立保育所の存在意義の見直しと、世間の皆様へ情報発信。

*遊び場

- ・教育機関に勤めており、成人がストレスある中で踏ん張る姿を子らに見せていくのは当然としても、成人を含め、とりわけ若い世代に体を動かしたり屋外で遊ぶないし運動する場を与えていく支援ないしその場の提供の工夫、この必要性は強く感じる。
- ・遊び場、相談の場の確保
- ・公園などはお兄さんたちがボール遊びをしていたり、走り回っていて危ないこともある。乳幼児でも安心して遊べるような場を提供して欲しい。社協や区役所などの空いている部屋を遊び場として開放してもらいたい。"
- ・こどもを安全に遊ばせる場所がほしいです
- ・園庭の開放、密にならないよう気をつけるので1日1時間以内で良いから子どもを遊ばせたい。
- ・家事代行、図書館（予約レンタルだけでも）、こどもがのびのびと遊べる場所

- ・図書館が開いていればいいなと思った

***遊びの提案**

- ・リトミック等の動画配信。シール貼りや粘土等の自宅配布。(買いに行こうにもコロナのリスクがこわくてなかなか行けない)
- ・家庭遊びの提案等あれば嬉しい
- ・おもちゃの貸し出し
- ・お弁当 遊べる教材 絵本

***食事**

- ・現実的ではないと思うが、給食やおやつを配ってくれるような支援があれば嬉しい。
- ・栄養のある昼食の提供
- ・給食など、食事の支援
- ・地域の子供と食事ができる場
- ・昼食の提供

***様々な支援**

- ・もともと在宅ワーク主体だが、ネット会議の予定時間だけでも子どもを見てくれるような仕組み。
- ・買い物に行く間見ていて欲しい
- ・オムツなど消耗品が増え困ってるので支援があれば助かる
- ・外出制限がなくなってから、子供達と行けるように(動物園や水族館)などの優待券などがあると嬉しいです。
- ・できる支援なら良いが、結局人が密に集まるのは避けなくてはいけないので、難しい
- ・多胎育児に対する何らかの支援が欲しい

民間の認可保育園

***遊び場**

- ・時差で、密にならないように配慮し、保育園や小学校の園庭や運動場を開放して遊び場を確保ほしい。近所に公園がなく、家の外で遊ばせている時があるが、騒音等の苦情がこないか心配。こどもの表情が暗くなってきた気がする。
- ・子どもに自宅内だけの生活を強いることは困難。動物園などの施設が閉鎖になることで、かえって公園などが密になっており、分散して外出できるよう、ある程度の屋外型の施設などは開放してほしい。水族館なども予約制などで人数をしぼればある程度の利用は可能だと思う。
- ・おもちゃの貸し出し、時間制や予約制での遊び場の開放
- ・家庭遊びの内容や教材の提供。人数制限の上で園庭開放。
- ・園庭開放
- ・公園出入りを禁止するのはやめてほしい
- ・公園遊具禁止は、そこまでする必要があるのかなと疑問でした。公園しか遊ぶところがなかったので。禁止されていない公園もあったのが気になりました。
- ・屋内遊び場、また平日しか開いていない子どもセンターの週末開館
- ・家庭外保育を提供してほしい
- ・広大な芝生
- ・作業するスペースと時間

- ・小さな子どもの遊べる場所がほしかった

***遊びの提案、教材の提供**

- ・家庭での運動不足の解消法など、何でもいいから発信がほしい。自分でダンス動画を子どもと一緒に見ているが、在宅勤務中は難しい。スマホに頼らず子どもだけでできるようなものがほしい。
- ・インターネットでぬり絵の題材や工作の制作動画などを充実させてほしい。各HPを探すのも苦勞するので、集めたサイトを作ってほしい。
- ・遊べるおもちゃや先生が配信する動画
- ・園からでも、保護者会などからでも、自宅で子どもできる遊びや簡単なレシピなどを配信されたりすると、有益だと思う。
- ・園芸など家に居ながらにしてこの際子どもと取り組むと楽しいことの提案、オンラインレクチャーなど。
- ・家庭遊びの内容や教材の提供をして欲しい
- ・普段、保育者がどのような視点で子供に接しているか、身内だからこそ気を付けなければならない子供との接し方の工夫の方法に関する情報など。
- ・年齢に合わせた遊び内容の提案。遊び教材や素材の提供。
- ・家庭遊びの内用や教材
- ・室内遊びの教材や提案があればありがたいです。
- ・材料などを買いに行く時間もない、行っても売り切れという事態も多いので支援して欲しい。
- ・画用紙や粘土などおもちゃ代がかさんでいるのでおもちゃ支援
- ・教材
- ・工作の素材、先生から子どもに向けた手紙、ハンドソープ、買物の代行、子どもの食事提供
- ・絵本の貸し出し
- ・絵本、給食
- ・本の提供
- ・こども園の絵本を貸し出して欲しい。公立の図書館は閉まっているので。
- ・絵本の無料配布や、家で過ごせるようにぬり絵や折り紙など欲しい
- ・図書館、動物園の一部で良いので営業があれば助かる
- ・図書館の蔵書の宅配
- ・図書館の利用、児童館の利用、また大きな広い公園や学校のグラウンドなどを開放して欲しいです。先日、日中に子供の泣き声や親の怒鳴り声がよく聞こえるようになったと町内で立ち話されている方々がいました。また、マンションの階下から子供の足音がうるさいと苦情が来て引越しを考えていると話されているお母さんもいます。外出自粛による子供と親のストレスは大きくなってきているように思います。
- ・難しいとは思いますが絵本の貸し出しなど。今はオンライン購入しか方法がなく、かなりかさんでいる。

***連絡・情報発信**

- ・いまはオンラインでのビデオ会議システムでも、電話でもいいので、保育園の先生などと触れ合う機会があるとうれしい。
- ・保育園もオンライン化してほしい。
- ・お便りもネットで見れるように。動画配信や zoom を使った保育等、積極的に行ってほしい。
- ・SNSなどで先生たちの姿を見たい。実際会いたいなあと子どもが言っているので
- ・TV 電話で子育て相談
- ・オンラインでつながって、話しをできる取組

- ・オンラインや電話等での育児相談
- ・zoom などでの保育参加
- ・オンライン相談
- ・先生が子供を指導するオンライン教育時間
- ・保育園からの動画などあれば喜ぶと思う
- ・保育園の先生からの子供に向けた動画や手紙。
- ・電話が一回だけかかってきたが、もう少し接点が増えたら子どもが喜ぶと思う。
- ・物資の提供まではいいので、電話やらメールやらで近況確認して頂きたかったです。一回電話があったきりでそれ以外何もなかったのは寂しいものでした。
- ・園の先生や他の保護者とあまり話せないで園での様子を写真やビデオで知れたら嬉しいです
- ・自粛中の家庭の様子を定期的に確認して欲しい
- ・プリント配布、電話などの対応が遅いと感じたので、何でも迅速にお願いしたい。さらに自粛に関する案内メールも一方的な要請に感じ取れた
- ・むしろ同じようなコロナ対策文書が何回も出されて、何が重要なのか分からなくなった。行政も園も混乱していると思う。国の方針が一貫していないのが問題。
- ・現在の状況をもう少し教えて欲しい。
- ・保育園からの連絡が欲しい。登園状況など。
- ・保育園の様子をもっとしりたい。何人登園しているかなど。
- ・毎日の登園人数
- ・保育園からも、情報提供があってほしいです
- ・仕事の関係上、ほとんど登園自粛出来ていませんが、もし可能であれば、いつも以上に子供の日頃の様子を教えて頂けると有り難いです
- ・他の子どもたちの状況が分かるための手立て
- ・外部との繋がりがもてる手立てを考えてほしい。
- ・投票制の書類なんかがある場合は取りに来れるか聞いて欲しかった

*保育

- ・保育園への登園可能日の設定（少人数輪番制など）、あるいは子の日中臨時預かりサービス
- ・数時間、数日でもいいので保育を提供してほしい
- ・間引き通園日を設けて欲しい。

*食事

- ・お昼ごはんの提供。こどもが体を動かせるような動画の配信。保育園の友だちとつながれる仕組み
- ・たべもの
- ・安価で栄養のある食事がテイクアウトできる、届けてもらえるなど
- ・家庭で簡単に作れる給食レシピ
- ・簡単に作れる給食のレシピ
- ・給食にかわる食事。子どものあそびへの援助（保育園の先生のリズム動画とか） "
- ・給食のみテイクアウトでいいので欲しい
- ・給食の代わりのお弁当配布
- ・食品、お弁当、休校に使わなかった食材
- ・お昼ご飯

- ・すでに書きましたが給食サービス
- ・給食

***生活支援**

- ・週に1度でもいいのでシッター派遣をしてほしい
- ・買い物が行けない人の為のなにか

***衛生用品**

- ・アルコールスプレーがほしい
- ・消毒液、家庭内での遊びの助けになるもの等
- ・マスクやハンドソープなどの日用品
- ・子どものオムツやお尻拭きなど消耗品の配達

***経済支援**

- ・光熱費の無料
- ・現金
- ・子供達が家にいると、なにかとお金がかかります。早く給付金が欲しい。数回にわたり給付金が欲しい

***様々な支援**

- ・保育園ではなく、市からの支援。
- ・京都市には期待しない

認定こども園

- ・家で過ごすにも限界がある。しかもスーパーに連れて行くなども自粛していると親も子もストレスでしかない。
- 2時間程度でもいいので少し息抜きができる保育の方法があると助かる。
- ・利用している保育施設は十分に良くしていただいており不満はない。

小規模保育事業

- ・ひとり親家庭に食料の支援だけでもお願いしたいです
- ・遊びの提供 動画の配信など

認可外保育事業

- ・金銭的にしんどい

その他

- ・年齢にあった遊びの情報が欲しい

少しでも安心して保育施設を利用するために必要だと思われること

3歳未満の子がいる家庭

***登園・保育**

- ・保育園登園自粛をしていた保護者は緊急事態宣言解除とともに一斉に登園させるのではなく、調整可能な保護

者には0%→30%→50%と出席率を段階的に上げるよう協力依頼をすべき

- ・密を避けるために1日の登園人数を制限する。本当に保育の必要な家庭に限る。保育士のモチベーションを保つ（安全の確保など）
- ・皆一斉に保育園に戻るのではなく、数人ずつ、週1-2回の保育から始めたらどうでしょうか。
- ・今年度入所した子どもには、4月当初にあるはずだった慣らし保育期間を再開後設けること。
- ・先生方も大変だと思うので申し上げるのは心苦しいですが、そのうえで申し上げますと、慣らし保育期間がほしい。再開前の園の様子を知りたい。手洗いうがいなどマスク着用を徹底する。先生や保護者も自粛生活を続けるなど。
- ・要請時には、少数世帯数の子ども以外に接触しないような、保育体制
- ・ワクチンか抗体検査確立までは閉園すべきだと思います。
- ・毎日、通常通り保育できるようにしてほしい。
- ・公立保育所の存在意義。安心出来ています。
- ・現状で満足している。
- ・家庭保育の協力
- ・コロナ前のいままでどおりの通常保育がこどもたちの発育や精神安定上よいと思う。フランスの一部の保育園のように、変に隔離したりこどもたち同士を遠ざけたりの対策はいらない。
- ・これを機会に、保護者会や行事は縮小してほしい
- ・京都市ではない、保育園独自の登園等の方針
- ・ここまできたら、あまり早い段階での解除はやめてほしい。第二波での子どもの感染があったらどうしようかと不安を感じる。
- ・仕事が休みの方、育休産休中の方など家庭保育が可能な方(保育園に在園していない方は妊娠中、産後関係なくご家庭で子育てされています。保育園に在園できていなければ利用できない状況の方全て)は必ず園の利用を控え、利用者数を減らすことで少しでも密を避ける。保育園を託児所のように親の都合中心で利用されている方が本当に多い、国として強く自粛の要請をして頂きたいです。ただ、長期的な自粛中になった場合は電話で様子を伺うなどケアは必須。また、保育士のマスク着用義務化の指示を出してほしいです。
- ・自粛期間の延長
- ・子供がまた馴染めるか不安。出来るだけ今まで通りにしてほしい。

*衛生管理

- ・感染対策は各保育所でしていただいていると思うが、できれば行政からガイドラインを出すべきと思う。特に海外からの帰国者と接触した園児の登園禁止期間の設定など。条例や法律を設定するまでもなくガイドラインとして配布すれば、少なくとも府内の園は一律の対応ができているとして安心して通園できる。
- ・感染を防ぐマニュアルを保育施設関係者だけでなく保護者も含め全員が共有する。
- ・保護者への衛生マニュアルの発信
- ・保育園からもっと他の保護者に衛生面での啓発、呼び掛けをして欲しい。インフルエンザワクチンすら打たない人が多い。
- ・基本的な安全対策の公表
- ・保育園で感染者（園児・職員）が出た場合の具体的な対応策の提示
- ・子ども達の年齢的に密になる事を避けるのは無理だと思うので、今でも実施されてるとは思うが最低限手洗い・消毒の徹底やお部屋の換気・空気中の消毒の徹底を今よりもしていただきたい。出入りする保護者や業者も同様に、園に入る時は徹底するようにもっと呼びかけて欲しい。
- ・自粛後の子どものケア。登園を続けていた子とお友達関係が変化していそう。密は防ぎがたいと思うので、手

洗い等の習慣をより強化する。

- ・送り迎えは出来るだけ短時間で済ましてマスク着用、アルコール消毒の続行
- ・園の消毒の徹底
- ・基本だが、徹底した消毒、換気。自粛が長くなり、保育園にも行きたがらなくなってしまう。動画配信や zoom で、子供と先生とのコミュニケーションツールができれば自粛後も安心して通えるのではと思う。
- ・園内の定期的な消毒 おもちゃも含めて
- ・家庭での除菌徹底。持ち込まない。
- ・保育園への支援（必要物品の支給など）
- ・保育士さんに対してマスクや消毒の支給など
- ・保育士のマスク着用
- ・マスクの着用
- ・基本的な手洗いと換気でいいと思います。
- ・徹底した手洗い換気などの対策
- ・決まった時間にこまめに手洗いうがい、消毒をする。
- ・できる限りでの手洗いや消毒。検温。
- ・中に入る際の消毒
- ・送り迎え時の消毒など……
- ・予防の徹底
- ・健康観察の徹底、保護者の感染予防の徹底
- ・消毒、マスク
- ・みんなの協力
- ・一人一人の自覚。送迎時のマスクの着用、手指の消毒。保育室に保護者が極力入らない。送迎時の保護者の滞在時間を短くする。保育園側は今までも徹底して消毒などしていただいています。これからも続けてほしい。ワクチンができるまで布おむつではなく、紙パンツの着用。
- ・感染防止
- ・感染予防。衛生管理
- ・正しい知識。
- ・より頻繁に園内感染が起こりがちな排泄物の衛生管理のため、使用済み紙オムツを園で一括処分してほしい（園によって財政状況が異なるため市が予算措置することが望ましい）
- ・ワクチンが接種可能になること
- ・ワクチンの確保
- ・保育園はもちろん、親の送迎時の衛生管理の徹底
- ・保育園は仕方ない
- ・保育士さんのコロナへの正しい知識の習得
- ・保育士の人数確保と感染予防に関する教育。積極的に保育料減免を実施して家庭保育が可能な家庭は家庭保育を実施し、児童の密度を緩和させる
- ・保育施設も各家庭も感染を防ぐための生活様式を身につけること

***連絡・情報発信**

- ・三者間(保育者と子どもと保護者)の信頼関係
- ・こちらが不安に思わないようにする事。子供にも伝わるので。なので保育園との連携密は必要かと。
- ・基本的に常に連絡を止めないシステムが欲しい。例えば、LINE を利用した毎日の保育の記録や、在宅での様

子をお互いに連絡を気軽にしあえるシステム

- ・ネットなどを利用しての今まで以上の連絡
- ・厳しいとは重々承知なのですが、もう少し1人の児童に対して密に関わって貰いたい。自粛をしている事もあり、久しぶりに保育園に行く日は部屋に入る事も嫌で朝の送り出しの際泣く事がほとんどです。仕事前からドッと疲れてしまいます…。
- ・情報を積極的に発信してほしい。
- ・公的機関からの的確な内容とスピードでの情報提供
- ・情報はすぐに知らせてほしい（他府県でコロナの陽性を隠していた事案があったので、そうはなってほしくない）
- ・情報公開
- ・保育園内で行っている具体的な感染予防策を公表する事。
- ・保護者間での情報交換など活発になったらいいと思います

***人権**

- ・保育園を利用する家族、保育園の先生方が風邪症状があるのに、仕事が休めない、子どもを預けるという状況のないように社会が協力すべきと思う。また園で感染者が出た時に、感染者が特定されないよう配慮しなければいけない。
- ・コロナの感染にはまったく恐怖はない。自殺者やインフルエンザの死亡者の方がよっぽど多いので。それよりこういうことでフリーランスを一方的に差別してフォローがない保育園や行政のやり方は間違っている。そんな保育園ならないほうがよい。一方的なルールや通達を押し付けるだけで個別への聞き取りや丁寧な対応をするという観点がないのが間違っている。
- ・保育園にかかわる誰かが万が一感染しても、その人が責められることなく、守られる環境、意識づくり。

***健康管理**

- ・それぞれの家庭、保育士が正直に体調不良を申告し、休む事。
- ・具合が悪い時には早めに休養を取らせる
- ・体調が悪い人が家族にいる子供は登園を自粛することの徹底。
- ・鼻水や咳が出ていても熱が無いため登園している子供もいる。風邪症状が少しでもある子は登園を自粛するよう園から保護者への対応を徹底してほしい。
- ・風邪症状がある子供さんは休んで欲しい
- ・各家庭で健康管理をし発熱等がある場合は登園自粛すること。
- ・毎朝の検温と、少しでも疑いがあれば容赦なく受け入れを断って欲しい。職場も保育園に断られたから休まなくてはいけないというのを当たり前と思って欲しい。

***保育士待遇**

- ・保育園の実状をふまえた実現可能な感染対策を専門家の見解をもとに国が示し、徹底してほしい。感染対策で手間がかかる分保育士さんや報酬を増やしてほしい。
- ・今でも、保育施設ではいつもの掃除などに加えて消毒などをこまめにおこない、できるだけ安心して過ごせるようにしている。これ以上、保育園に求めることは、そこに働いているもののストレスを増幅させると思う。そもそも、子どもに対する大人の人数が少ないので密を防ごうとしても人数的に限界がある。配置基準を見直し人員を増やすこと、そのためには保育士の処遇の改善が必須であると思う。行政は、コロナ対策とともに配置基準問題や、保育士の処遇改善など根本的なところから見直して改善してほしいと思う。

- ・子供たちも含めた全員の手洗いの徹底
- ・保育士さんはよく予防に気をつけてくださってると思いますので、待遇改善・維持を希望します。
- ・先生の増員。こどもだけしかいない部屋があったり階段で遊びだしたり。周りに大人がいない状態がすごく気になる。
- ・こどもは自由で発想も豊か。突拍子のないこともやるので先生の増員は必須！
- ・保育士をもっと増やして欲しい
- ・保育士の通勤を最小距離にするような支援策
- ・先生方の待遇・賃金向上、人員増員
- ・人員の増員
- ・先生たちだけでは子どもを見ながら、消毒などをするのが大変すぎるので、市がお金を出して消毒もできる人員を確保できるようにしてほしい

***その他**

- ・行政の素早い対応
- ・感染と共存していくという、皆んなの意識の変容が必要
- ・個々の自粛
- ・大人が繁華街や夜の店に行くことをやめること
- ・不要不急の外出を控え、手洗いうがい、食事のバランスや睡眠などを今まで以上に気を使うようにする。保育園で使用したものはすぐに洗ったり消毒したりなど。

3歳以上の子がいる家庭

***登園・保育**

- ・公的機関で働いていて、この間必死に仕事している。しかし保育園からあるとき、休めませんかとプレッシャーをかけられ、これまで信頼してあずけていた保育園が一気に冷たく感じた。こういう気持ちになることがなくならなければ。
- ・子どもの登園数が減らないなら、保育士の増員、そのための公的援助。食事、昼寝の際の密集を減らす、そのための公的援助。京都の状況だけじゃなく、県外から通勤してる保育施設職員は、住んでるところの感染状況で通勤の可否を判断する、そのための公的根拠。個人持ちの手洗いタオルの廃止・可能な限り、外遊びを保障する。子ども、保護者の健康状態の引き続きの把握。引き続き、出入りする大人のマスク着用
- ・過密を防ぐための手立てがあると嬉しい。例えば、先生と園児を時間グループで分けるなど。短時間になるが、安心できる。
- ・受け入れの柔軟性
- ・当面、コロナと付き合いながらの子育てになると思う。夏祭りは中止になり、秋のバザーやクリスマス会もどうなるのかわからない。親子で飲食を伴うイベントなどが今後無理になるのではないかと不安。開催しようと思うと、全員 PCR 検査受けて陰性を証明するか、ワクチンを全員が受けるかなど、明確な基準がないと難しい。イベントをすべて中止にするのも子どもたちの保育にとっても良いことだとは思えない。
- ・イベントやめればいいってもんじゃない。感染者をだしたらあかんからイベント行事やめるなら責任のがれでしかないし、子供のために記憶に残る対応をしてほしい。
- ・安易に行事等を取りやめにするような考え方でなく、色んな方法で出来るように検討することを大前提に進めて欲しい。
- ・保育園児も学年毎に取り組みの積み重ねや次年度への見通しがあるので、長い家庭保育生活で仲間と過ごせなかった分をこれから丁寧に重ねて欲しいです。抽象的な表現ですみません。

・保育園が完全に休園になれば、会社も特別休暇になるので、緊急事態宣言が出た時などは、保育園は保育園の登園の自粛を要請するのではなく、完全に保育園を閉めてほしい。

・分散登園

・自粛していた子供達が久しぶりに園に復帰するのは、本人にとって緊張することだと思うので、安心してまた戻れるように担任の先生にご配慮していただけたらありがたい。

*衛生管理

・各園に対策に必要な消毒などを支給してあげるべき。

・消毒液等、予防に必要なアイテムの安定的な供給。消毒作業等、負担が増す予防作業や感染対策に時間を充てるための人員増強。

・子ども以上に大人が感染予防を徹底すべき。手の消毒さえも面倒になって、しないまま施設の中に入る人もいると思う。

・定期的に設備やおもちゃなどを清潔にする。子どもたちに手洗いうがいを習慣つける。親によって考えがバラバラなので、必要最低限のガイドラインを守ってきてくれるよう指導してほしい。

・子ども同士のことなので、ほとんど仕方がないが、少しでも感染が防げる環境にならないか。またいつもと違う園の状況を、子供がどのように感じているか。

・消毒の徹底。せめて手洗いとアルコール消毒。ただ子どもにアトピー性皮膚炎があり、コロナウイルスが流行ってから手洗い回数が増え、手湿疹が悪化した。手洗い推奨と言いつつも、子どものケアもありジレンマに陥っている。

・消毒剤の設置、活用の指導。明らかに体調がすぐれない様子のこどもを預けている保護者への指導。

・衛生面の改善

・衛生面の徹底をしてほしい。細やかな掃除など、担任任せに感じる部分があるため、施設としてきちんと管理してほしい

・保育環境の整備(衛生面や安全面)

・保育施設への衛生物品の供給支援

・保育者や保護者のマスク着用、消毒の徹底、換気など。

・感染対策をしてほしい。

・感染対策を保育施設、利用者共に徹底すること

・感染防止対策

・広い環境・少人数制・手洗いなど清潔管理

・換気、消毒は徹底してほしい

・窓を開ける、手洗いの励行

・先生達の危機管理に対する意識

・先生達の危機管理に対する意識向上

・大人同士が感染しない取り組みと意識

・未就学児に使用できるワクチンと薬の確保。

・給食やおやつ前の手洗いの徹底(子どもの自主性に任せるだけでは忘れてたり、不十分な手洗いになったりする)

・咳エチケットの徹底(家庭で腕で口を覆うよう伝え続けると幼児でもだいふんできるようになった)

・ウィルスを持ち込まない事

・おむつを各自持ち帰らせることをやめてほしい。嘔吐した時の衣類等を持ち帰らせるのもやめてほしい。園ごとでそういった判断に任せず、京都市として禁止してほしい。

・園児の石鹸での手洗い徹底とアルコールの各部屋の設置

・消毒の徹底、マスクの徹底、三密を防ぐ徹底をしてほしい。三密を防ぐためには40人いるクラスは10人ずつに編成し直して行動するしかない。協力していただける家庭にきいて、いまの先生の体制で10人に先生1人の対応できるように何か工夫をして欲しい。

・完全な滅菌環境を作る事は不可能なので、できる範囲での対策を行なっていくしか無いと思っています。

・マスクできればまだ少しはましかもしれないですが、保育園の場合難しいことは理解しています。又、密着も仕方がなく。親が社会に属している（又、医療機関などリスクの高い職業の人が保育施設を利用する可能性が高いこと）以上、仕方がないことも理解しています。

・個人的には安心を保育園に求めるのは荷が重いと思います。子供はよく分からずコロナ流行前と変わらない行動を取るでしょうし、それにいちいち制限をかけていくのは保育園現場のストレスが増すだけ。大人達がコロナへの意識的に耐性をつけて、コロナ感染もあり得る、と開き直す？しかないと思います。あとは基本的な予防しれないと思います。

・多くが民間園に移管されている中で、必要な対策（マスクや消毒液等の調達、消毒等衛生面の管理・実施、これらの費用）が園任せにされていないか心配。もっと自治体や国が支援や指導、費用拠出をすべき。（ほかの福祉施設にも言えることだと思う）

***連絡、情報発信**

・定期的な保育園からの情報共有、消毒作業

・情報の共有

・密なる連絡

・保護者へのフォローやサポート、今後の見通し（場当たりの対応ではなく、想定されるパターンや基準などを明確にしたもの）が示されること。

・保護者や子供に寄り添う姿勢。

・親と保育者とのコミュニケーション、集まり。

***保育士待遇**

・親も不安ですが、保育園の先生方はもっと不安ではないのでしょうか。保育園の先生方にもお子さんがあり、生活があります。私は、確かにストレスフルな毎日です。しかし、今回のことをきっかけに保育士の先生の専門性を国は、社会はもっと高く評価し、「ありがとう」という言葉で片付けるのではなくきちんと報酬を上げていくべきです。そうしないと離職も増え、安心して保育施設を利用することから離れていきます。

・先生たちが健康でいていただくことが大切だと考えています。時短では保育時間そのものが減ってしまうので、人員を増やしてほしいです。

・公共交通機関を長時間利用して勤務している保育士への引越し資金もしくはタクシー通勤や駐車場代手当。自治体から施設へ消毒用品の継続的な無償提供など

・保育士の配置基準の変更

・保育士は最前線でがんばっていただいているエッセンシャルワーカーです。賃金・労働条件を引き上げて、人員配置を手厚くしてほしいです。すべての保育士に公務員なみの賃金・労働条件を求めます。

・先生方の負担を減らす。保護者が平日休みの場合は保育園に預けず親が自宅でみる（親の通院時などは例外）。土曜保育は、両親とも土曜に働いている家庭だけにする（お父さんは家にいるのに預けている方もいるそうです）

・園に必要な分だけの消毒や職員の増員

・保育園の先生方が無理なくこれまで通りに子どもたちへの温かい保育ができるよう、人員の確保や園への財政面での補助、先生方への手当てなど。

・保育士の人員確保と賃金の向上。先生たちが安心して働けることが、子どもの園生活の安定と安心に繋がります。

す。

- ・保育士の対応
- ・保育士を増やすこと(配置基準の改善)

***健康管理**

- ・体調不良の職員が休める体制づくり
- ・体調不良の園児が登園した場合の体制づくり
- ・体調が優れない時は無理して登園させない。念のため休ませるという考えに切り替える。そのためには休暇をとりやすいよう職場の理解を得る必要がある。
- ・頻度の多い検温・少しでも体調の優れない子は預かれないと断ってほしい。
- ・体調の悪い子供を登園させないように、保護者への協力を強く呼びかける。
- ・子供の身体状況を観察し、少しでも異変がある場合は登園を自粛する。しかしその為には親も仕事を休むことになる。勤務先にも欠勤する旨を理解してもらいやすくするために、保護者のみでなく地域社会全体へ向け行政からも通知が必要ではないか。
- ・保護者が子どもの異変に気づいたらすぐ保育園を休ませるようにすること。
- ・預ける側も、預かってくださる保育者の方も全員が、毎日の検温や手指消毒、マスクの着用、少しでも体調が悪ければ登園を自粛するなど、基本的なルールを守ること。それができていない人が一人でもいれば、それだけで不安は増すと思います。
- ・体調のチェック
- ・保育園の内部に入る人を制限する。入り口で検温をする。
- ・検温
- ・非接触の検温と高頻度の抗原検査
- ・子どもの観察
- ・各自の体調管理と、こまめに検温する。
- ・少人数保育、健康観察の徹底
- ・自粛しても、負担にならないようにする。
- ・保育施設では密を避けるために園庭で遊ぶことが多いが、これからの季節は熱中症などの対策が必要だと思う。

***その他**

- ・園児や関係者に感染陽性が出た場合、休園になる方針だが、医療職で仕事を休めないのが漠然とした不安を感じている。何らかの救済方法を考えて欲しい。
- ・すべての利用者の意識改革。いままでと同じことはできないと思って生活すること。
- ・分散して子ども達が過ごせるように、人、空間を施設全体で拡充できるよう市は補助金を出してほしい
- ・自粛分の保育料と諸経費を早く返還してほしい
- ・秋冬にかけての対策を今から考えて欲しい。
- ・今回のコロナに関しては、3密を防ぐ為の環境整備等が不十分であること、またもし罹患の可能性のある時に検査がきちんと受けられるのかということが解消されれば、少しは安心できるかもしれない。しかし我が子が重症化した時に、自分がもう少し家で見ていたら掛からなかったかもしれないと、自分を責めることしかできなくなる。できれば子どもには健康に成長してほしいが、日々様々なリスク(交通事故やそのほかの感染症、誘拐などに巻き込まれる可能性など)があるのもわかっている。コロナだから心配ということではなく、今まで見過ごされてきた様々な事が、この機会に見直されたら良いと思う。まずは保育園、幼稚園の義務教育化、12歳未満の保護者(男女問わず)の働き方改善、子育て力の向上、かかりつけ医の普及など、日本の育児世代、会社、社会への

サービスの充実が必要だと思えます。

- ・今回のコロナのようなウイルスに対しては自粛しかないのでは！命を守るためなので！
- ・自粛しやすいように緊急事態宣言解除になっても在宅勤務が出来るなど職場と学校等の配慮が重要。宣言解除した途端にウイルスが消えるわけではないのに職場の制度は宣言の解除と同時に取りやめになる場合が多い。学校も再開して休むと欠席扱いになると、子供を休ませようにも自分が休暇を取る必要が出てくる。職場でも学校でも同調圧力が強まると感じる。
- ・自身の職場でもそうだが、教職員は相当に配慮し気を配っている。安心して、というより預ける以上何も言えない、というのが本音。加えて言うなれば預かってくださることのありがたみは平常時の何倍も何十倍も大きく、感謝こそあれ、である。
- ・なにが良いかはもうわかりません

現在の暮らしの中での思いや、京都市や国への意見

迅速な対応

- ・京都市のスピードが遅い。非常時は通園を止めるべきで、限られた人だけに開けるということをもっと早く宣言すべきだった。お子さんがいる先生方も休めず困っていたと思う。寺や神社といった外部空間に恵まれている街。いろいろな手を借りて、臨機応変に、子どもたちの教育、保育の場を考えて欲しい。大学が多く、海外からの留学生も多い。京都の大学だけでも、9月入学を先だって取り入れてもよいのでは。
- ・全ての対応が遅すぎる。保育園に入る時の京都市の面接の時にどんな保育園に入りたいか話をしたら、市の担当が、保育園は幼稚園と違って、仕事で預けるところだから、預けられたらどこでもいいのよ、同じよ。と言われて、憤りを感じました。
- ・こうなってしまったものは仕方がないが政府の対応が遅く不十分な為にこうなったと思う。国民の生活面をもっと考えてほしい。精神的な部分も。今後それなりの免除等を考えて欲しい。
- ・大阪にできることが京都にできないわけがないと思う。スピードをもっと意識して欲しい。本当に収入に困って、生きるか死ぬかの人がいることも実感が足りないと思う。
- ・京都市は動きが遅いし、自らの決断で何もできてない。実際に困っている状況が理解できておらず、上の判断はピントがずれている。きれいごとや保身でなく、動くべきと考える。
- ・京都市の全ての対応を早く。第二波に向けての先手。医療現場への支援。
- ・大阪見習ってほしい。何するにも遅い。図書カードやマスクくらいくれたって良いのに。税金高い割に何もしてくれない。ゴミ袋代まで取って、横大路にさすてとか作ってる金があるなら、もっと市民に還元してほしい。
- ・本当に必要としている人に必要なものが届くようにしてほしい。迅速な対応であってほしい。
- ・まともな政府であってほしい。マスクは正直バカバカしいアイデアだと思うし、給付金は少なすぎる、どれも遅すぎる。もっと庶民の感覚に近づいて物事を受け止めてほしい。今のままでは、弱者や庶民は見殺しにされてしまうと感じる。"
- ・もっとスピード感をもってほしい
- ・色んな手続きを、簡素化して欲しい。時間がかかりすぎ。
- ・感染症の対応・保障が遅い
- ・京都は対応が遅い気がする。また子供に対する手当も厚くない。
- ・京都市に対して、10万円の給付金が遅すぎる事が不満です
- ・京都市は給付金の手続きが遅くて困る。1日も早くほしい。子供三人いて毎日家にいてお金もなく食べるものなくてきつい。光熱費免除とかほかの都道府県のようにやってほしい。京都市は何もしてくれない。
- ・給付金の対応が遅すぎるなど感じる。

- ・給付金を早急に配布してほしい
- ・補償にスピード感を出して欲しい。
- ・京都市長は迅速な対応をお願いしたい。選挙で燃え尽きている場合ではない
- ・迅速な決定、対応、支援金の早急な給付(このままでは企業も家庭も崩壊する)
- ・対応が遅い。
- ・対応を早くして欲しい
- ・いつも決断遅いです。家庭に連絡くるまでギリギリすぎます。先生達もかわいそうです。
- ・何もかも動きが遅すぎる。マスク、自分で作ったりしているし、今から来ても…って感じです。補助金、納税後にきても…って感じです。保育園は幼稚園などと管轄が違うのはわかりますが、2月末からの幼稚園や小学校休校と違い、保育園に対しては何も対策が練られていない感じを受けてがっかりしました。2月末のタイミングで保育園も自粛要請を厳しく出して頂きたかったです。ゆるい言葉で協力してくれる親はほとんどいません、休みでも預ける親多数でした。4月17日からやっと利用が減りました。保育士も命がけです。子どもも命がけです。第二波が来た時は保育園に対しても早急な対応をして頂きたいです。はっきりいって、保育園が休園になれば親は仕事を休まざるを得ないんです。結果、人の動きは収まります。一番早い自粛の方法だと思います。渋谷区のように医療従事者など最低限の利用に絞っての開園の方がいいと思います。京都府の利用可能範囲は広すぎて、正直、殆どの職種やん…って思いました。第二波がきたら、グッとより厳しい制限を2週間かけて、ダラダラとしないようにして頂きたいです。
- ・休校などの連絡が遅い。もう少し長い目でみて早めの対応をお願いしたい。また、他所の知事は個人での記者会見ながら、京都は京都市市長と合同。あまりに1つの市にのみ肩入れしているのが恥ずかしい。
- ・何をすることも情報が遅すぎるので困る。前もって段取りもあるのでもう少し早めに知らせて欲しい。
- ・いつも対応が遅いし、子育て世代への補償などが全くない！高齢者を守るのも大事だが、少子化を防ぐためには産みやすく育てやすい環境を作ってもらわなければますます減る一方！京都市は全国の政令市の中でも保育料が高額すぎる！年収が上がっても上がった分がほとんど保育園で飛ぶ！
- ・京都市の対応は後手後手で、ふらつきが多く、教育現場は方針が変わるたびに混乱しています。教育も大切ですが、それよりも大切な命を最優先とした決断を、早い段階でもらえると、みんな余裕を持って動けると思っています。
- ・国は何もかも判断が遅すぎる！日本は遅れている！それに早く気づいていただきたい！医療、教育にたくさん予算を組んで見直して、同じことのないようにしてほしい！税金の使い方、大丈夫ですか
- ・他の県より対応が遅いと言うか、何もしてもらっていないと思う。収入が激減している家庭もあるので、補償をしっかりとしてほしい。
- ・対応が遅い、初めに徹底的に規制して短期間で終息してほしい。
- ・対策が遅れているように感じる。素早い対応をしていただきたい。
- ・人々の命や生活を守るために、これまでの優柔不断だったり、場当たりの的だったりする姿勢を改め、リーダーシップを図り、素早い決断と行動を心がけてほしい

情報発信

・京都府京都市には今回のコロナでよく分かったことがある。不民市民への連絡の遅さ(コロナ感染者感染場所、休校、給付金など)。みんな不安を抱えているのに SNS をなぜもっと使わない??使ったら観光の連絡…呆れて言葉が出ない。なぜ?そう決めたのか?も説明ない。給付金遅くなってること連絡もお詫びもない。現場が混乱しないように早めから指揮を取るのが首長の仕事でしょう??京都市に住んでいますがここに税金納めたくない。引っ越したいくらいです。子供たちの笑顔のために市民への補償しっかりやってください。親が安心して住めないと笑顔作れません!!

・教育、保育、こどもたちへの対応がすべて後回しにされていると感じている。ほったらかしで保護者の負担に感じる人が多い。発信も少ないし、対応もものすごく遅いと思う。

・検査数をもっと増やして正しく感染の規模を把握してほしい。情報を正しく伝えてほしい。医療体制を守ってほしい。

・コロナの感染状況について、地域に根差した状況が、全く入ってこない。検査も十分にしてもらえないし、私は妊婦だが、家族についても、これからの出産についても、仕事の継続についても不安しかない。大変な状況であるというのは分かるが、もっと各人々に根差した情報、対策をとって欲しい。全ての基準や対策があいまいで、ころころ変わり、みんな振り回されている。

・京都市が各保育園の状況を調査し隠さず公表すること

・京都市はもっと情報発信をして欲しい

・これまでも京都市から提供される保育園に関する資料は、Web サイトも紙資料も文章が多く、また自分が求める情報がどこに書かれているかがわかりにくい印象があります。保育園へ行けない状況でまず調べるのは公的機関が作成する Web サイトです。京都市の Web サイトがもっと見やすくなって欲しいです。よろしくお願いします。

・京都市については、休校等のお知らせが毎回とても急で親や子供への配慮が欠けすぎていて憤りすら感じます。また、給付金についても何処よりも手配が遅く、これについても不満しかありません。子供たちは何も悪くありません。なのに詰め込み教育・楽しみを取り上げる行事等中止案・長期休暇の短縮。子供たちの立場に立ってもっと慎重に考えてやってください。やめればそれでいい訳ではありません！！！！

・京都市の情報発信が大変わかりにくく、市長の言葉が全く響きませんでした。わかりやすい言葉で説明してもらえ、民の立場にたって語り掛けを続けてもらえる首長がいる自治体が本当にうらやましかったです。京都市長ももっと前面に出て、市民に語り掛けて安心感を与えてほしかったです。いつも安心・安全と繰り返すばかりで何も伝わってきませんでした。

・京都市は私がみる限り情報発信が少ない。大阪府知事が全部がいいとは言いませんが、あれぐらい毎日しっかり情報発信してほしい。ギリギリで他の県や国に合わせるんじゃなくて、京都市としてどうしないといけないか、そこをしっかりと説明して発信してほしい。個人事業主への支援金が支援してほしい事業主が多すぎて、予算では足りなくなってるのかも聞きます。全事業主に、はじめに言っていたお金が支給されるように、せめてですよ。ただでさえ足りないんですから。お願いします。書き出したらキリがないですが、よろしくお願いします。

学校のことでもすごく気になります。この遅れがしっかり取り戻せるのか、急いで授業せず、しっかり時間を確保していただきたい。先生への負担もかなりあるはず。その辺はどう考えてはるのか…とにかく、説明がないので、前に出てしっかり分かるように説明してください。

・今回のコロナウイルスにおいて、他の都道府県に比べると、京都はコロナウイルスに関する情報が伝わりにくいと感じた。普段観光客が多い割には、いざという時に京都府民への補償も手薄に感じる。京都府長や市長は、京都府民のことよりも観光客を呼び込むことに重点を置いているように思えた。

・質のいい情報だけ国民に降りてきてほしいです。メディアが煽りすぎて、間違ったり空回りな行動を起こす人が多いように思います。あと、これを機にシステム化すべきポイントをどんどん抑えてほしいです。給付金のオンライン申請が各地で事故を起こしているのは、残念だなあと思います。

・情報を逐一更新して欲しい。保育園への自粛を強要しないで欲しい。自粛するべきと考えている人だけすればよい。

・登園自粛期間の延長・育休からの復職期限延長はもっと早く通達してほしい。本来なら休業延長も可能だったのに、通達が遅すぎるために延長できず、慣らし保育を短くして復職することになった。子どもへなるべく負担をかけさせないでほしい。

・方針の決定が期限ギリギリ過ぎため、大変困っている。もっと早く情報を発信して頂かないと、就労に影響が

出てしまいます。

経済支援

- ・未婚シングルマザーなので経済的不安が強い。社会的弱者と言われる世帯への救済措置を強化してほしい。
- ・経済的に厳しい家庭も多い。年金、健康保険料の引き下げをしてほしい。国に対しては消費税の引き下げをしてほしい。
- ・子育て世帯への温かい援助や金銭面での政策（子供医療費無料化、保育料減額、減税）がもっとあれば、たくさん子供を生み育てたいと思っていた。少子化に止めるためにも、子育てしやすい環境づくりを進めてほしいです。
- ・子供3人以上育ててる方にもう少し協力して頂きたい。児童手当や医療費。私は4人育ててますが、もう少し国の力が欲しいですね。男の子4人育てるとゆうことがどんだけ大変か。お金のかかることか。
- ・経済支援。公共料金や税率を下げる。特に消費税減税。今こそ国防費、武器、戦闘機など購入の予算を削り、経済復興、医療・教育関係費用に回す。
- ・必要としている物を国民に渡してほしい。マスクも今更いらん。みんなお金かけて買ったり工夫して手作りしているし、何より現金を早く届くように動くべき。
- ・収入がないので、やはり現金が欲しいです。
- ・マスクを配布する財源を収入が減った家庭や事業者への経済的支援へしてほしい。今回の政府の対応は後手後手だし、マスクの配布は本当に無駄だと思う。
- ・布マスク配布はいらぬ。経済支援を充実してほしい。
- ・学童保育についても利用料の日割返還をしてほしい。
- ・子どもが増えるごとに2人目以降増額など一人当たりの児童手当を増やしてほしい。
- ・お金を、暮らしへ現場へ、回してください。
- ・児童手当をあげるとかしてほしい。一万上乗せじゃたりない。
- ・大企業に勤めているパートの人への助成金を出してほしい。
- ・助成金
- ・子どもを含めた家族の医療費の負担が大きい。3歳以上も継続して医療へ掛かる機会は減らない為、子ども医療の保証をより広げて欲しい。
- ・子どもの医療費（歯科含む）を高校生まで無償にしてほしい。インフルエンザワクチンなどの任意の予防接種も無償にしてほしい。京都市に対しては京都に住んでいても市民に対するメリットがあまりにも少なく観光ばかりに力を入れて市民への還元がない。市の所有施設は市民は無料、割引にしてほしい。子どもが遊べる公共施設が少なすぎるので作ってほしい。
- ・こども医療費の負担をもっと軽くしてほしいです。1500円にまでさがりましたが、他の市町村と比べるとまだまだ高く、診察を躊躇してしまいます。
- ・幼児～医療費負担を減らして欲しい。保育や医療に携わる仕事の方へ手厚い補償をお願いいたします。
- ・子供の医療費無償化
- ・小学校の給食費無料などの支援実施してほしい。負担がおおきすぎる。
- ・3歳未満の子供は風邪をひきやすいので、働ける日がすくなくなると保育料が払えなくなります。家で食費もいるのに、保育料まで負担が大きい。生活する為に預けているのに、生活が出来なくなります。
- ・6月に職場復帰する予定ですが、売上減の影響で時短・減給になりそうで不安です。減った分の補填があると嬉しい。
- ・一律10万円の給付より、本当に収入が減ったり困っている方だけの給付にしてほしい。無駄に国の赤字が膨らむだけで、将来が不安です。

・家庭保育をした場合の保育料の減額は出来ないのか。また、登園自粛や家庭保育は重要だと理解出来るが、保護者としては一息つける暇もなく精神的にも身体的にも疲労する。

・世帯収入が減っても補填される分が少ない上に、子供の食費などが増えてお金が足りない。ずっと家にいるわけにはいかないが、安心して遊べる環境も少ない。

・軍事費に割く予算をカットして、保育、福祉、医療、教育、防災など、命に関わる政策の予算を割いて欲しい。

・経済的な支援を充実させてほしい。支援にスピード感が欲しい。京都府知事、京都市長からの発信が少ない。観光に力を入れるのではなく、もっと地域で生活している市民に目を向けてほしい。

・児童手当を高校生も対象に伸ばしていただきたいです。お金かかります！

・自粛に伴い出費が増え、逆に収入が減った為給付金の増額

・世帯収入が減っても補填される分が少ない上に、子供の食費などが増えてお金が足りない。ずっと家にいるわけにはいかないが、安心して遊べる環境も少ない。

・保育料を均一に、安くして欲しい。従来から、月額保育料を納めさせるくせに、仕事の休日には保育園を休むことなどを求めてくるのは理解できない。

・様々な支援策がありますが、まだまだ経済的に厳しい状況は続くので、長期に渡る支援策を要望します

・調べたところ京都市の保育料は日本一高く安い地域の倍以上です。3人の子育てで支払った保育料は大学の授業料よりもはるかに高く、1000万円は軽くこえています。また所得制限のため児童手当も満額いただけず、今回の児童手当1万円上乗せの対象にもなっていません。コロナ影響で収入は変わらずとも子どもたちの食費など支出はかなり増えており、日々の生活がかなりきついです。正社員で共働きで必死で働いても働いても所得が上がれば保育料は高くなり児童手当はもらえず、税金も社会保険料も多額となり、頑張って働いても生活は貧しいです。低所得でも仕事休んで安い保育料、満額の児童手当をもらった方が良いのか計算すると本当にその方が得ですので頑張って働くのが馬鹿らしく思います。京都市で子どもを産み育ててきた事に心から後悔しています。他の地域に引っ越せば良かったです。

税金の活用

・税金を上げたのはなんの為！？マスクの再検品に8億もかけず、桜をみる会でグダグダ時間かけず。もっと有意義なことに税金を！

・観光地としての活気が取り戻せるように税金を活用してほしいと思います。何か役立ちたいと思う人も多いので、使用先を明確にした寄付を募ってもいいと思います。

せっかく素晴らしい政策や法律があるのだからまともにお金をかけてください！

・納めた税金を、市民のためになる使い方を望みます。医療、福祉、教育、そして中小企業の支援など、本当に必要なところへ支給して欲しいです。

・必須！不要な税金減らしたいため国会議員や市議会議員の給料と数を減らして欲しい、コロナで無収入の人が増えたので国会議員も無給とするべき。そして、今後は世論が納得する給料まで下げてほしい。人数もそこまで必要ないこともわかった。天下りや老人がのさばる政治社会を変えて欲しい。国の上層部が高齢すぎる。今後の日本の未来を考えて政策を考えてほしいが、高齢化なので自分たちに都合のよい政策になる。特に、少子高齢化は今後大きな問題になると思うので、積極的に解決策を考えるべき。高齢者からの支持はあるので、高齢者が当選してしまう現状を変えて欲しいので、65歳までで潔く退職してください。あとは議員関係の仕事に天下りしないで、自分で働いて庶民の生活をしてほしいです。

政策

・とにかく行動が後手になっているのではないかと。風通しのいい政治をみせてくれないと市民は不安と戦い、他府県と比べ、気の緩みから勝手な判断をしてしまう行動に出してしまうこともあると思います。経済的な部分でも

不安を抱えている方もいます。京都も打撃食らっているのは十分分かりますが、いかに観光客で収益をとろうとしていたのか分かりましたね。もっと現地に住む市民をみてもらいたいです、上から見るだけでは下の方まで見えないかと思います。不要不急の予算を今必要なことに回し、声の届かないところまで助けてほしいです。あと、医療従事者の方や流通の方などにも労いをかけてあげてほしいなと思います。

- ・医療従事者への特別手当支給。0歳から保育料無償化、給食費も無料。中学校給食実施。外国人観光客に頼らない市政

- ・京都市は他府県の自治体と比較して、全く今回のコロナで政策を出さないことが不信に思っている。この非常事態にまともに政策を打ち出せないということは、いったい徴収した高い市府民税を何に支出しているのか、きっちり説明して欲しい。

様々な支援

- ・ひとり親への対応をもっとどうにかしてほしい。
- ・子どものいる世帯が1番困っている。父子家庭、母子家庭なら優先順位を考えて手当などして頂きたい。
- ・京都市と国に、ひとり親に対する支援と給付金などの対策を一日でも早く考えて動いてほしいです。本当に毎日食べることも大変になってきてます。京都市や国以外の有名人や芸能人の方がひとり親のために動いたりしてくださってる中、京都市はいまだに、貸付というものの以外のひとり親対策がないことが本当に冷たく悲しく思います。
- ・ケアの必要な子供がいる家庭に関しての支援をしっかりと欲しい。
- ・京都市からの子育て世帯への支援が少ないように思う。
- ・必要などころに必要な支援を迅速にしてほしい。
- ・子育て世代の救済。お金もなく、子育てもいく場がなく厳しい。
- ・子供達の不安を解消できるような心のケアを重視して取り組んでほしい。
- ・休職中の保護者の支援
- ・緊急事態宣言が解除されるも、またいつどこで第二波がきてもおかしくない状況なので、少なくとも今年度いっぱい保育を延長取得しても保育園に在籍できるような長い目線で見たり取り組みを推奨して欲しい。一旦育休を取り終えた後、また緊急事態宣言が出た時に改めて取るということはほとんどの職種において困難だと感じる。保育園で働く現場の先生方も、解除されたあとの精神的な負担が大きく、さらなる保育士の離職が進むことが懸念される。そのためには、休める保護者は休み、家庭で子どもを見るということも今年いっぱい継続していかないと意味がない。第一線で働く保育士さんたちの命を守るためにも、保育園の在り方が大きく変わる必要がある。

休業補償

- ・単純に登園自粛を求めるのはやめてほしい。休業補償を充実させてほしい。日額8300円では実態に合わない。
- ・保証を伴う休業要請。議員数の削減及び定年制度。日常生活における税負担の削減。

コロナウィルス対策

- ・京都府民と観光客でバスや電車の車両を分けて頂きたい。出来ないなら乗らないし、別の政党に投票する。
- ・収入の面で不安な方も多くおられると思うので給付にしても方針にしても早い対応をしてほしいと思う。京都は観光客も多いので経済に打撃があるけれど、ウィルスを持ち込むとすぐに広まる気がするので慎重に対応してほしい思いもあります。
- ・第二波の時には、保育園や学校が休みとならないように、迅速に感染者と非感染者を分ける取り組み
- ・国や医療機関研究者には、コロナウィルスに感染したとしても、ある程度マニュアルで治療出来るよう切に願

います。今後もし感染したとしても、自己責任論や差別的な行動をやめるよう国、地方自治体は告知し続けるべき。給付金支給が進まないなら、税、ライフラインの支払いを猶予すべき。後に払うようすればよい。希望者の親に、少人数の入れ替え制でいいので、子どもたちを学校や保育所に行かせる選択を与えてほしい。0か100では無く、柔軟に対応してほしい。

- ・前述したように、高齢者の方がよく出歩いている印象です。医療従事者として、基礎疾患の多い高齢者は子供たちより危険に感じます。高齢者にも外出自粛を呼びかけ、必要な方には保健福祉センターや地域包括センターでフォローし、地域医療とつなげた方が良くと思います。

- ・未就学児の教育にももっととりくんでほしい。コロナについて、マスコミの煽り情報ではなく、冷静な数値や偏らないデータや報告をみての判断をしてほしい。海外ふくめ偏りなく情報を集めて検討すれば、コロナはそこまで驚異のあるものではないし、インフルエンザと同等と考えています。厚生労働省の入院者数の基準もかわるなど、いまいち信頼性にかけます。マスメディアを利用して国民全世界の人たちを煽りたいだけ煽っているような印象をもってきます。全体の自粛ではなく、高齢者や基礎疾患のある人などリスクの高い人だけ外出を自粛し、その人たちに金銭的なことをふくめた支援をしていけば、費用もおさえられたし、経済はここまで止まることもなかったと思います。

- ・市としてマスクの購入券を配布してください。妊産婦へのコロナ対策の徹底(マスクの優先配布や働き方など)、市としての子育て家庭に対する給付金の配布等をお願いします。この自粛期間中で子供がとてもきれやすくなりました。日々ストレスを感じていることと思います。また、登園再開した時のメンタルが不安です。

- ・PCR 検査、抗体検査の大規模実施。感染者の治療と隔離。
- ・PCR 検査や抗体検査を誰にでも受けられるようにしてください。
- ・京都市・国へ:もっと積極的に検査して下さい
- ・コロナにかかったら受診できる相談場所を増やしてほしい。電話相談できる人員を増やすしかない。早急にしてほしい。
- ・安心して外出できるようにしてほしい。マスクをしてない人が増えている。早くワクチンを開発してほしい。ワクチン接種の補助。紙パンツの補助。
- ・京都市独自に小児にもインフルエンザワクチンの補助を出してください。公衆衛生対策として出来る感染症対策はして欲しい。
- ・感染予防のための物資がまだ不足しており、早急に改善してほしい。
- ・必要物資や援助金の迅速な支給。何でも 遅すぎる

今後の対策

- ・今の段階でニュースでは、まだ観光客は受け入れられないと言われていたが具体的な対策が練られていないのでは？と思う。各地で解除になり始めたら観光客も来はじめるし、逆にこなければ、観光客相手の商売をしているところは大打撃だと思う。明確にどう対策するか、また店側への保証なども、検討して行ってほしい。

- ・ここまできたら、徹底したコロナ対策を最後まで実行して、早く通常の生活に戻りたい。特に京都は観光地なので、外部からの入浴をきちんと制限してもらいたい。学校については遅れをどう取り戻すのか、対応をきちんと考えてほしい。子供には大きな負担をかけないやり方など、対策をお願いします。

- ・子供を守るために登園自粛をするのはやむを得ない。6月から急に100%登園再開させて感染が急増しないかが不安。会社に説明するためにも京都市や国から引き続き自粛を継続し、段階的に登園再開させるような指針を出してほしい。

- ・長期化することを前提として考えたら単に自粛ではなく感染を防ぎつつどう生活していったらいいのか新しい生活様式を構築していく必要がある。そのために、国として市として具体的に保育施設や商業施設での対応マニュアルを作成共有してほしい。

・コロナの第2波が出て再度自粛要請をする場合に、各保育園の判断任せにするのではなく自治体で早急に通達を出すようにしてほしい。

・京都市としてどうしていくのか、具体的な方向性をきちんと示してほしい。周りの府県の出方を待たないでほしい。潔さが無い。

・教育委員会に特に言いたいのだが、通常再開だと学校や保育施設は3密回避不可能な場所であり、子供達の命や健康を第一優先に真剣に考えて欲しい。早く通常に戻そうとするのは悪戯に子供は元より教職員や関係保護者家族をウイルス感染の危険に晒す行為であると理解して欲しい。宣言が解除になっても子供を守れる働き方が出来るよう、事業所に対して在宅勤務、リモートワークを積極的に進めて欲しい。

子どもの遊び場

・自粛中、その後も園庭や運動場の開放。公園がない学区はどうしたらいいのかわからない。再三、市に要求しても改善されない。数年前には幼稚園の座談会に市長が参加され、市長に直訴したが改善されなかった。上京区や北区には学区にいくつも公園がある。不公平さを感じる。

・身近に自然に触れられる公園や広場が少ない学童が窮屈そう（施設の広さ・活動内容）

・舞台やイベントの仕事で個人事業主で登録し働くことが出来ていました。それで息子は通うことができていました。イベント業がままならなくなり、いまは感染予防のために家で子供たちと過ごしています。たぶん引き続き、家で見れる人は見てください、となるのだと思います。仕事がないので見ることができますが、友人が園にいる息子が友人たちと遊べないのが可愛そうです。多感で沢山遊べる時期なのに、それが悔やまれます。外遊びや、園庭開放など、家で子供を見れる人用に、園で友人たちと関わる時間がほしいです。

・親や子どものメンタルの相談できる窓口（電話でも）を広く設置し、愚痴を話せるだけでもいいので、気軽に悩みを相談できる体制を整備して周知すべき。収入が激減している飲食店や自営業の保護者も多いので、一刻も早く補償して、生活基盤を整えるべき。「人がいない公園なら遊んでもOK」だが、公園が少なすぎ、過密化している。もっと整備して、あそべる場を提供すべき。高校生の部活の子どもなどが児童公園でキャッチボールやパスの練習をしており、小さい子どもと一緒に遊ぶのは危ない。公園が過密なのは明らかなのだから、小学校の校庭開放などしたほうが、密は解消されるのではないかな。

・パチンコ屋や通勤電車よりも換気が良く、ソーシャルディスタンスのとれる公園やグラウンドがなぜ早期に閉鎖されたのか、その根拠を示すべきです。子供達の成長や発達のための支援が疎かにならぬよう、親や子供達の声をしっかりと聞いて欲しいと思います。また、学生さんの学習と同じように、このコロナの中で未就学の子供達にも日々の生活の中で学び（遊び）の場が制限されているという状況についてその対策を考えて欲しいと思います。

・子供が騒いで許される住宅の供給

子どもの権利

・自分や家族がコロナに感染することへの不安がある一方で、子どもの成長や発達の上では、学校・学童や保育園に行けないことは将来も含めて不安に感じています。また、職場でも社会全体でも、子育て世代が直面している実情に対し理解が乏しいと感じています。京都市は子育て世代の声を聴いたり、必要な支援を打ち出す気が無いのでしょうか。このような調査も、本来であれば民間の団体ではなく行政が率先して行うべきだと思います。その上で、必要な支援を打ち出すべきではないのでしょうか。今まで子育て世代の声が届いたという実感を持ったことが無いが、それはコロナ禍でも同じでした。

・休校と保育園の自粛要請が休業要請よりも先にされ、子育て家庭の自粛が長期化していることに納得できなかった。子どもの教育を受ける権利(幼児教育も含めて)を国や京都市にはしっかり補償してもらいたい。

・国には国民の生活が本当に大変になっている事をもっと調査をして実態を把握して欲しい。子供達にとっても

この数ヶ月の時間は取り戻せない大切な時間だった。子供の学習面をもっと重視すべき。

- ・保育園より小学校が休みで大変。
- ・小学生が学校に早く通えるようになってほしいです。これを機に少人数学級を実現してほしいです。
- ・9月入学のための飛び級は絶対にやめてほしい。未就学児の人権も守って欲しい。
- ・9月入学のニュースの件について私は9月入学反対です。2015年生まれの娘はもし案1が通ったら年長を半年過ごすことなく来年には1年生になってしまいます。ただでさえ今も登園自粛で3月から園に通えてないのにトータルほぼ一年近くを失うことになります。メディアではどうも賛成寄りの意見や9月入学ありきの話で進めているような気がします。案2になっても今まで同じ学年だった4月生まれの子達が1個上に混ぜられるなんて可愛そうで仕方ありません。同じ歳の子を持つ親御さんはこのことに気づいてない方が多いです。どうかこのデメリットを多くの人に知って欲しいです
- ・9月入学はやめてほしい 関係のない未就児まで影響で振り回されるのは勘弁してほしい
- ・ある程度の自粛は必要ですが、特に3歳児クラス以上では、子どもの社会的発達のために保育園や幼稚園は必要です。子どもたちの「保育を受ける権利」をしっかりと考えた政策をお願いしたいです。
- ・今の年中児4~8月産まれを来年9月小学校入学にしてください
- ・子供は8月生まれで、いま0歳児クラスの園児です。9月からの就学を国は検討も視野に入れていると聞きますが、この先の園でのクラス編成がまず気になります。9月からの入学等は賛成ですが、8月生まれの我が子が、学年で一番年少になるのが気がかりです。"

保育士の待遇

- ・リスクを背負って働き続けている保育職員に、それに見合う手当ての補償を公的に責任を持ってすぐにしてほしい。保育以外の福祉労働者や医療労働者も、同様。医療をはじめ、保健所も介護も保育も学童も障害者施設も、コスト優先で公的な責任を後退させてきたことで、こういう緊急事態が起こった時に対応できないことが、はっきりした。緊急時に対応できる態勢の確保は、国、行政が責任を持つ、そのための税金。きちんと国民の安全保障（軍事じゃない！）につかってほしい。日頃から。片親が子どもを見れることで、登園自粛しているが、もう片親の労働時間の長さ故、負担が大きい。シングル家庭などの負担の大きさは計り知れない。開けるか閉めるかだけじゃなく、全体の労働時間を短縮するなど、もっと規制をかけてできる対応はあると思う。
- ・各種申請の手続きがもっと簡略化、迅速化してほしい。・保育園の先生方の待遇を改善してほしい。長時間労働、低賃金で疲弊した先生では、保育の質が下がってしまうし、そもそも、先生方はすばらしいのもっと休んだり高給をとったりしてほしい。
- ・仁和寺前的高级ホテル建設やリニアなど、市民が求めているところに労力やお金をかけてもらいたくないです。子供達の命を守る大変な仕事を担ってくれている保育士さんの待遇改善、利益重視の企業経営保育園の保育の質の向上などにもっと注力してほしいです。
- ・保育士さんの待遇をあげてください。育休中でも、保育園はこどもにとって大事な居場所なので、育休中の家だけ登園自粛を要請しないでください。
- ・保育士のかたがたに対する保障。子どもたちの安全対策
- ・保育スタッフの頑張りに見合った報酬のうわ増しを。人員の補強をしてください。
- ・配置基準を引き上げる、保育士の処遇改善を必ずしてほしい。人員を確保するには、その2つが改善されなければ解決しないと思うので。新型コロナウイルスが感染拡大していても保育所が開所し続ける意味はなぜなのか説明してほしい。保護者が仕事にいくためであるなら、経済活動をまわしていくためならそれだけ社会に必要な仕事であることを認め、仕事に見合った処遇を保障してほしい。現場の声を聞き寄り添った政策、安心、安全第一で物事を考えてほしい。子どもの医療費無償化、ホテル建設をやめて公園を増やしてほしい。市民の目線に立って物事を考えられる市長や首相になってほしい。

- ・保育園で働いていただいている方に感謝しています。
- ・保育園で働く職員の賃金アップ。保育士さんが働きすぎてオーバーワークにならないように、人材不足を解消することが必須です。
- ・保育園の職員の皆さんには日々感謝しかありません。必要な人員を確保することはもちろん、安心して気持ちよく長く働いていただける環境を整備してほしいです
- ・保育士の待遇改善とより手厚い配置
- ・保育士の労働条件の向上。
- ・保育者の待遇改善
- ・保育士さんをはじめ、保育園・学童保育所に携わる皆様のおかげで日々なんとか仕事できています。(コロナに関係なく、ですけど) 感謝とともに、ご無理なきよう、どうか少しでもお休みください…と願います

保育施設

- ・登園自粛が続く中で、子どもの成長にとって、保育園が大事な場だったなと改めて感じています。3密が揃いやすい保育園で、コロナ終息後にこれまで以上に衛生面に気をつけ、1人ひとりの園児の成長をじっくり見て保育を行おうとするならば、今の保育士の配置人数では少ないので増やしてほしいです。
- ・保育園に預けられる条件がかなり厳しく、家庭保育に協力しているが、親も子どもも疲弊している。感染拡大を防ぐためには必要な措置だと思うが、精神面のフォローや孤立を防ぐ取り組みが必要。
- ・保育士、医療福祉関係が一生懸命働いてる事を知ってほしい。この時期に我が子を保育園に預けて白い目で見られることを知ってほしい。どんな思いで働いてるか知ってほしい。自粛も大変やと思いますけど働かないといけない側も大変です。
- ・子供との時間が増えて嬉しい反面、しんどい事もあるので、仕事の人以外預けられない保育を何とかして欲しいです
- ・産休や育休中でも産後に誰の手伝いもなく途方に暮れている家庭もあります。そういう家庭の子どもも預かってほしいです
- ・妊娠後期の為、自宅保育がかなり大変でした。産休育休中は、自宅保育で、、、とお願いがあったため要請に従いました。結局、こちらの体調不良が原因で、再び預かっていただく事になりましたが、お願いするにあたってかなり申し訳なく思い、言い出し辛かったです。後期に入った段階で自動的に、保育園への登園が許されれば良かったと思います。
- ・産後すぐの登園自粛。産休中であるが母の身体が回復せずしんどい。ただ家にいるからという理由で一度も預けられないのはきつい。市長の存在が皆無。もう少し考えて欲しい。
- ・子育ての息抜き用の保育も必要です
- ・終わりが遠くて精神的にまいってきました。6月からはリフレッシュの意味でも上の子だけでも週に何度かは保育園に預けたいのですが駄目でしょうか。
- ・保育園が完全に休園になれば、会社も特別休暇になるので、緊急事態宣言が出た時などは、保育園は保育園の登園の自粛を要請するのではなく、完全に保育園を閉めてほしい。
- ・コロナや疫病時、特定の職業しか保育園に預けられない特別保育の実施。
- ・育休中(在宅勤務の人も)はやる事があるから自宅にいたのであって暇な訳ではない。保育園の登園自粛は本当に辛かった。登園自粛するなら公平にして欲しい。
- ・インフラ、医療系、通常勤務している家庭以外の園児は登園自粛しているが、在宅勤務、自営業の家庭も輪番で登園できるようにしてもらいたい。
- ・保育施設はコロナで様々な制約があるが、できなくて仕方がないと諦めず、子供の成長を支援するためになにが出来るかを、家庭任せにせず考え、実行してほしい。

- ・もう少し保育園に対して市として統制をとってほしい。
- ・保育園に預けている保護者も小学生を持つ子の親のように会社を休んでも給料保証をさせるようにしてほしい
- ・民間移管後、民間保育士・園の質の低下に親子共に苦痛を感じている。フォローをしてほしい。
- ・保育園等の情報を、より分かりやすくしてほしい。
- ・現在、小学生2年生と3歳・0歳のこどもがいます。勉強をまだまだ見てやらないと出来ない年齢で一緒にやっ
てあげないとと思うが下の子がいるとどうしてもそっちに手がかかるため出来ない。1人で子ども3人と過
す時間が長いとストレスもたまって子ども達にキツく当たってしまうこともしばしば。。凄く自己嫌悪におち
いる。マンションの三階なので家の中で動き回ることもできず、でも子ども達は動きたくて仕方がないからつい
い走ったりドンドンしてしまっ怒ることも増えてしまったし、下の階の人は言っっては来ないけど凄く怒って
るのではと考えてしまう。緊急事態宣言が出た当初、主人の勤務日数が減って家にいることが多かったので家事の負
担(特に食事)が増えてしんどかった。自粛が始まってから現在まで、一人になる時間が全く無いのでイライラす
ることが多くてほんとにしんどい。自分だけではないし、もっとしんどい状況の人もいると思うけどどーしていい
かわからない。
- ・働けなくなり、三密を防ぐために、休めない親子のためにがまんしてるが、休める親子のために何か対策を考
えて欲しい。
- ・保育施設にもっと予算を回して欲しい。
- ・保育時間が短すぎる

自粛と補償

- ・自粛と補償は一体であるもの。このままでは破綻します。現状では少しでも収入を得るため、保育園を休ませ
たくても休ませることができない。子どもを危険に晒している自責の念と社会からのプレッシャーにただただ耐
えている状況。自粛に殺されそうです。
- ・在宅ワークでも通信費や光熱費はかさむので保証が欲しい。在宅ワーク中に子供の世話をしても問題ないよう
な仕組みが欲しい。
- ・自粛を要請して、市民同士を監視させるのはずいやり方。休業要請をしてきちんと補償をするべきだと思う。
- ・大手の会社でも倒産が報じられるなど、コロナウイルスによる社会的影響はこれからだと思います。すべての
人が安心して暮らせるよう、国は国民の生活を守る義務があります。国債で借金を増やすのではなく、有事とし
て防衛費を大幅削減して対処してもらいたいです。金の出し惜しみはしないでください。
- ・最低生活の保証。自粛を自己責任に任せる現状では、不安が高まり自粛警察など個人攻撃が増加し、サポート
されるべきはずの感染者が差別される事から感染を隠すなどにより、正確な感染者数の把握が困難になるなど返
って、感染予防に不都合にならないか。安心して自粛出来るよう最低生活費の保障を求めます。

仕事

- ・現在育休延長により保育園登園は自粛中です。会社の配慮により12月まで(2歳になるまで)は仕事復帰延長が
可能となりましたが、京都市の復職期限は現在6月末までとなっている為、それ以上延長は出来ない。一度復職
してしまうと今後登園自粛には協力出来なくなる。コロナが再度流行した場合も保育園に預けなくてはならな
くなるので心配です。京都市も秋頃までの育休延長出来るようにしてほしい。そもそも4月でないと保育園入園は
難しい為(途中入園枠がほぼ無い)この時期に復帰予定にしているだけなので入園資格延長を可能にし、育休中家
庭の選択肢を増やしてほしいです!!自粛の生活から電車バス通勤、接客と感染リスクの高い生活を始める事に不
安を感じています。
- ・在宅勤務の場合に「家庭保育」を求められるのは問題だと思います。仕事を休めているのであれば家で子ども
をみることが出来るかもしれませんが、子どもを家でみることと家で仕事をする事は両立しないと思います。

・在宅勤務の場合でも、明確に仕事がある場合は短時間でも預けることを認めて欲しい。子どもを見ながら仕事はできないので。

・現在は在宅勤務の場合、子どもを家で見よう求められているが、未就学児の面倒を見ながら仕事をするのは不可能。新型コロナウイルス終息後も、なし崩し的に在宅勤務と家での子育ての両立を求める風潮にならないか心配。仕事と保育がそれぞれきちんと保障されるよう求めたい。

・保育と仕事は両立しない！・保育園の先生方は自粛する日も登園する日も温かく真摯に対応してくださりがたく思っている・マスク着用により期待される効果もあるようですが、「とにかくマスク」のような風潮に疑問を感じる・京都市中小企業等緊急支援補助金の申請期間が短かった。自宅で保育しているとそれに向けて準備するだけでも一苦勞。なんとか最終日に投函したが、しっかり準備しなかった。

・在宅しながらの保育は、子どもも大人も精神的に負担が大きすぎます。大人は体力的にも。保育が必要な家庭は在宅、出勤関わらず対応してほしい。公園に行く人が増え、やはりキレイな公園に人が集まるので、荒れている公園も整備をしてほしい。図書館は緊急事態宣言中も予約貸出はできるようにしてほしい。絵本は家にいる時に必須です。入場制限・予約等で構わないので植物園等の開園もお願いします。現代は家が狭く、また遠出もしにくく施設も閉まっている状況だと、遊ぶ場所が少なすぎる。子どもの遊べる環境を整備してください。在宅仕事中に、子供と大人と赤ちゃんの3度の食事を用意するのが本当に負担。給食のお持ち帰りなどができるとありがたいです。

・自宅ワークの親の場合は自宅での保育をとのことですが、子どもがいては日中仕事ができず、夜中に仕事をせざるを得なくなることも。在宅ワークでの自宅保育協力は無理があります。そのような中での子どもとの関わりは余裕がなくキツくなり、虐待にも発展する可能性があります。また、長期に渡って、子どもと親だけの関係のみでは社会性が養われないのでは、と危惧します。

・保育所の登園自粛対象から在宅勤務を除外してほしい。4歳位になれば可能かもしれないがそれ小さい子供は難しい。

・今回の件での収入の減少はありませんが、入職延期になったことで、本来予定されていた収入が全くなくなりました。そういった世帯もあることを覚えていただくと幸いです。

・小学校以上の教育現場で、もっと先生が個人的に動ける環境にあってほしいと思う。今は、昔ながらの縦社会の大企業の組織のようで、トップダウン（教育委員会）からの課題作り待ち、情報共有待ちとかなので、先生方それぞれがもっと個性を持って自分のクラスの子供達を鼓舞したり、励ましたりする仕組みや環境に変わって行ってほしい。それが、それぞれの担任の色になり、クラスごとの差ができ、より一層先生という職業に就く人たちの責任や意識を変えていくのではないかと思う。

意見

・この間、国や京都市は何をしてくれましたか？何もしてくれていません。現場の自助努力に丸投げです。衛生面について、感染予防について、生活保障について、全て自己責任ではありませんか。市長の危機管理能力のなさに呆れています。

・京都市は対外的なのことに予算をつぎこみ、市民のことをないがしろにしすぎだと思う。市長は教育畑から出てきたことを売りにしているけど、現役の時から良い評価はされていなかった。自宅でいる期間が長くなればなるほど、養育環境の良くない家庭の子どもの心身が心配です。宅配弁当でも、学童で週1でも無料で昼食を配布するでもいいから、何か手を打ってほしい。

・市長が本当に市民のことを思って活動しているのかが、全く見えません。今回の騒動で市長の力量がはっきりとわかりました。残念です。

・もっと市民の声を大切にしてほしい。

・非常時に苦しい状況に陥りやすいのは、弱者だということを知らないのでは、と感じています。

- ・市民は頑張っています。早急に行政もそれに応えて欲しいです。コロナ条例つくってください。
- ・京都市内に市営住宅をつくってほしい。家賃が高い。
- ・とりあえずマスクはいらないので市でストックしといてください。欲しい人だけに配布でいいと思います。
- ・マスク配布 今からでもやめた方がいいと思う ウイルスを防ぐ効果のあるものに変えるなら別ですが
- ・コロナをきっかけに、不要だった行事や会議が見直されつつあると思います。いらないものをなくし、本当に必要な医療ややり取りを丁寧に行う政治をして欲しい。市長の姿や思いがどこからも伝わらずに情けない。
- ・とにかく京都市には全く期待できない。観光や神社仏閣に対して目を向けてばかりで、市民に対してもっと向けるべき
- ・とりあえず市長は無能なので辞めて頂きたい。京都から出ることも考えてる。
- ・やはり教育の場で働くが故に、あまり制度面でフラフラしないでいただきたい。
- ・京都府知事、京都市長は今回のコロナの対応について府民、市民ファーストの対応をされたように思いません。テレビの会見等を見てものがっかりしました。全国でも屈指の観光都市なのにその上にあぐらをかいているだけでいいですか？もっと府民、市民の為に大胆な政策を打ち出せないのですか？給付金の支給も遅すぎます。今回ほど京都に住んでいてがっかりしたことはありません。
- ・言うても上まで願いが届かないのでいいです。
- ・日本はまだ恵まれた状況にありますし、遊び場に恵まれた京都は中でもなお恵まれた環境にあると思います。保育に関して、一人っ子なので、本当に他と接点がなくなるのが気になってはいますが、習い事でオンラインになっている属性があって、それで救われています。具体的にこうして欲しいという改善点や要望ということはないです。
- ・保育園の実費分についても自粛した分は減免してほしい、調べたところ京都市の保育料は日本一高く安い地域の倍以上です。3人の子育てで支払った保育料は大学の授業料よりもはるかに高く、1000万円は軽くこえています。また所得制限のため児童手当も満額いただけず、今回の児童手当1万円上乗せの対象にもなっていません。コロナ影響で収入は変わらずとも子どもたちの食費など支出はかなり増えており、日々の生活がかなりきついです。正社員で共働きで必死で働いても働いても所得が上がれば保育料は高くなり児童手当はもらえず、税金も社会保険料も多額となり、頑張って働いても生活は貧しいです。低所得でも仕事休んで安い保育料、満額の児童手当をもらった方が良いのか計算すると本当にその方が得ですので頑張って働くのが馬鹿らしく思います。京都市で子どもを産み育ててきた事に心から後悔しています。他の地域に引っ越せば良かったです。